



VS125 屋外シリーズ

AIステレオビジョンピープルカウンター
ユーザーガイド

目次

目次	2
第1章 序文	5
著作権表示	5
安全に関する注意事項	5
性別認識に関する声明	6
改訂履歴	6
第2章 製品紹介	7
概要	7
主な特長	7
梱包明細書	8
ハードウェア概要	9
外形寸法 (mm)	10
ボタンおよびLEDインジケータ	10
配線	11
SIMカードの取り付け (携帯電話版のみ)	11
第3章 電源供給	13
第4章 設置	14
設置に関する注意事項	14
検出範囲	14
精度に影響を与える要因	19
第5章 センサーへのアクセス	21
第6章 操作ガイド	26
基本カウント設定	26
設置パラメータ	26
デバイス戦略	27
エリアピープルカウンティング	32
詳細プロパティ設定	35

お子様と大人の区別	35
性別認識	36
スタッフ検出	38
Uターンフィルタリング	41
グループ集計	44
方向検知の表示	46
障害物除外	50
I/O設定	52
ヒートマップ	54
複数デバイス結合	55
概要	55
ノードデバイス設定	57
マスターデバイス設定	59
通信	64
ネットワーク設定	64
WLAN	70
MQTT API (セルラー版のみ)	74
データ提示	76
ダッシュボード	77
画像	80
検証	81
システム	84
デバイス情報	84
ユーザー	85
時間設定	87
リモート管理	88
システムメンテナンス	90
第7章 通信プロトコル	92
トリガーレポート	92
ライン越えのピープルカウンティング	92
地域ピープルカウンティング	94
滞在時間検出	96
有効な視聴者数 - 単一トラックが表示されなくなります	97

定期報告書	99
第8章 MQTT API コマンド	105
検索レポート	105
レポート結果を取得する	107
検索ログ	114
第9章 サービス	118

第1章 序文

著作権表示

本ガイドは、Xiamen Milesight IoT Co., Ltd（以下「Milesight」といいます）の事前の書面による許可なく、翻訳、改変、翻案などの派生作品を作成する目的で、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

 当社は、事前の通知なしに本ガイドおよび仕様を変更する権利を留保いたします。すべてのMilesight製品の最新仕様およびユーザードキュメントは、公式ウェブサイト <http://www.milesight.com>にてご確認ください。

安全に関する注意事項

操作ガイドの指示に従わなかったことにより生じた損失または損害について、Milesightは一切の責任を負いかねます。



警告：

これらの警告を無視した場合、重傷または死亡事故を引き起こす可能性があります。

- 本製品の設置は、資格を有するサービス担当者によって行われ、現地の電気安全規制を厳守する必要があります。
- 火災や感電の危険を避けるため、設置前には製品を雨や湿気から遠ざけておいてください。
- 高温になっている可能性がある部品には触れないでください。
- プラグが電源コンセントに確実に差し込まれていることをご確認ください。
- 設置時には、本機が確実に固定されていることをご確認ください。
- 本装置は、いかなる方法でも分解または改造しないでください。



ご注意：

これらの注意事項を無視した場合、怪我や機器の損傷を引き起こす可能性があります。

- 動作温度範囲を下回る／上回る場所に本装置を設置しないでください。
- 本装置は衝撃や打撃を受けることが絶対にあってはなりません。
- レーザー光線装置が使用されている場所に本装置を置かないでください。
- 熱がこもるのを防ぐため、本体の周囲の空気の流れを妨げないでください。



- 柔らかい乾いた布で、デバイスのレンズをお手入れください。頑固な汚れは、少量の洗剤溶液を浸した布で拭き取り、その後乾いた布で拭き取ってください。
- アルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性溶剤は、表面仕上げを損傷する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

性別認識に関する声明

Milesightは、あらゆる多様性の側面を尊重し、受け入れます。これには、性別表現のスペクトラムに沿った、あるいはそれを超えたあらゆる位置にある性別同一性も含まれます。

技術的な理由により、人感センサーに組み込まれたアルゴリズムは、人物が女性か男性かを判断する際に、容易に識別可能な視覚的特徴のみを認識します。生物学的性別の確実な検出は不可能であり、またその意図もございません。ご本人が自認される性別に対する不敬の意図は一切ございません。本集計は、多数の人々を対象とした統計的測定に過ぎません。

改訂履歴

データ	ドキュメント版	説明
2025年10月22日	V1.0	初期バージョン

第2章 製品紹介

概要

VS125 アウトドアシリーズは、屋外環境向けに設計されたプロフェッショナルグレードのピープルカウンティングソリューションです。過酷な環境に耐えるよう設計されており、防水・防塵性能に優れたIP67規格に対応。さらに赤外線・紫外線や雨からの保護機能を備えております。

深層学習AIと両眼立体視技術を搭載した本センサーは、低照度環境や完全な暗闇においても最大**99.8%**のピープルカウンティング精度を実現します。性別、お子様、スタッフの検知といった属性認識機能も対応し、**GDPR**プライバシー基準に完全に準拠しております。

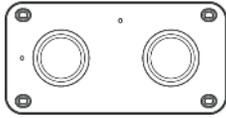
本装置は、セルラー通信やPoE（Power over Ethernet）をはじめとする柔軟な接続オプションに加え、RS485、デジタル出力（DO）、デジタル入力（DI）などの拡張インターフェースを備えております。これにより、多様な屋外アプリケーションの範囲においてシームレスな統合と効率的なスペース管理を実現いたします。

本製品は、観光地、街路、公園、野外活動などの場所でお使いいただけます。

主な特長

- AIとステレオビジョン技術による最大**99.8%**の高精度なピープルカウンティング
- IP67規格の防水・防塵ハウジングにより、広範囲の温度範囲内で信頼性の高い屋外性能を保証します
- 優れた光適応性により、低照度環境や完全な暗闇においても安定した性能を発揮します
- 天井への取り付けは最大**6メートル**まで対応し、自動傾斜補正と赤外線光調整機能を備えております
- お客様が定義するプレビューのプライバシー設定により、個人情報を含むデータは一切送信されません。**GDPR**に準拠しております
- ライン越えピープルカウンティング、エリア別人流計測、滞留時間検出に対応しております。
- 性別、グループ、お子様、スタッフの識別を含む高度な属性認識により、より深い洞察を実現します
- 熱分布マップ機能を対応し、人の流れの強度と分布を分析します
- 最大**16台**のデバイスを連結するマルチデバイス・スティッチング機能を対応し、カバー範囲を拡大します
- ローカルデータストレージとデータ再送信に対応し、安全なデータ収集を確保します
- 複数の接続オプション（PoE、セルラー）を提供いたします
- RS485/DI/DOの複数インターフェースに対応し、高い拡張性を備えています
- Milesight開発プラットフォームによる迅速かつ容易な管理を実現します
- HTTP(s)/MQTT(s)プロトコルおよびAPIとの高い互換性によるデータ伝送を実現し、カスタマイズされたプッシュコンテンツ方式に対応いたします。

梱包明細書



1 × VS125-O デバイス



4 × 天井取り付けキット



4 × ゴム製ネジ穴プラグ



1 × 保証書



クイックガイド ×1

セルラー版専用アクセサリ :



1 × 電源アダプター



1 × SIMカード取り出しツール

PoEバージョン専用アクセサリ :



1 × 電源アダプター (オプション)



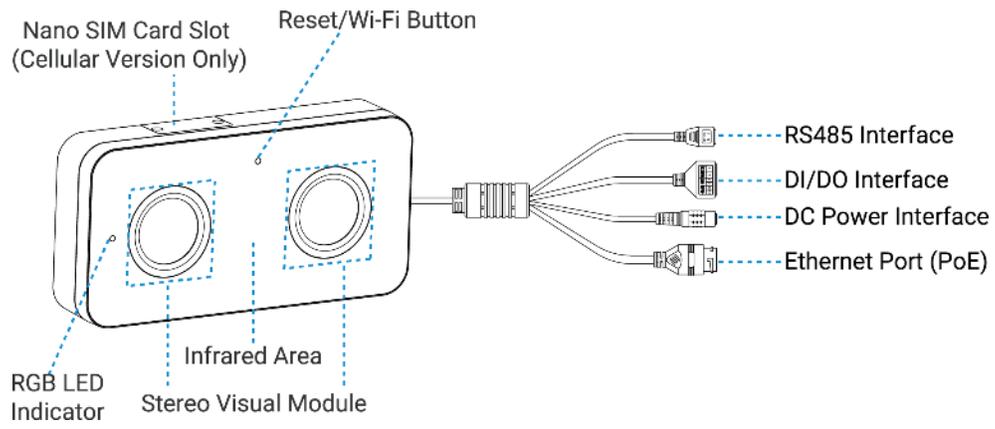
ご注意:

1. 本製品は取り付けキットおよび人流計測アクセサリに対応しております。詳細はQRコードをご確認ください。

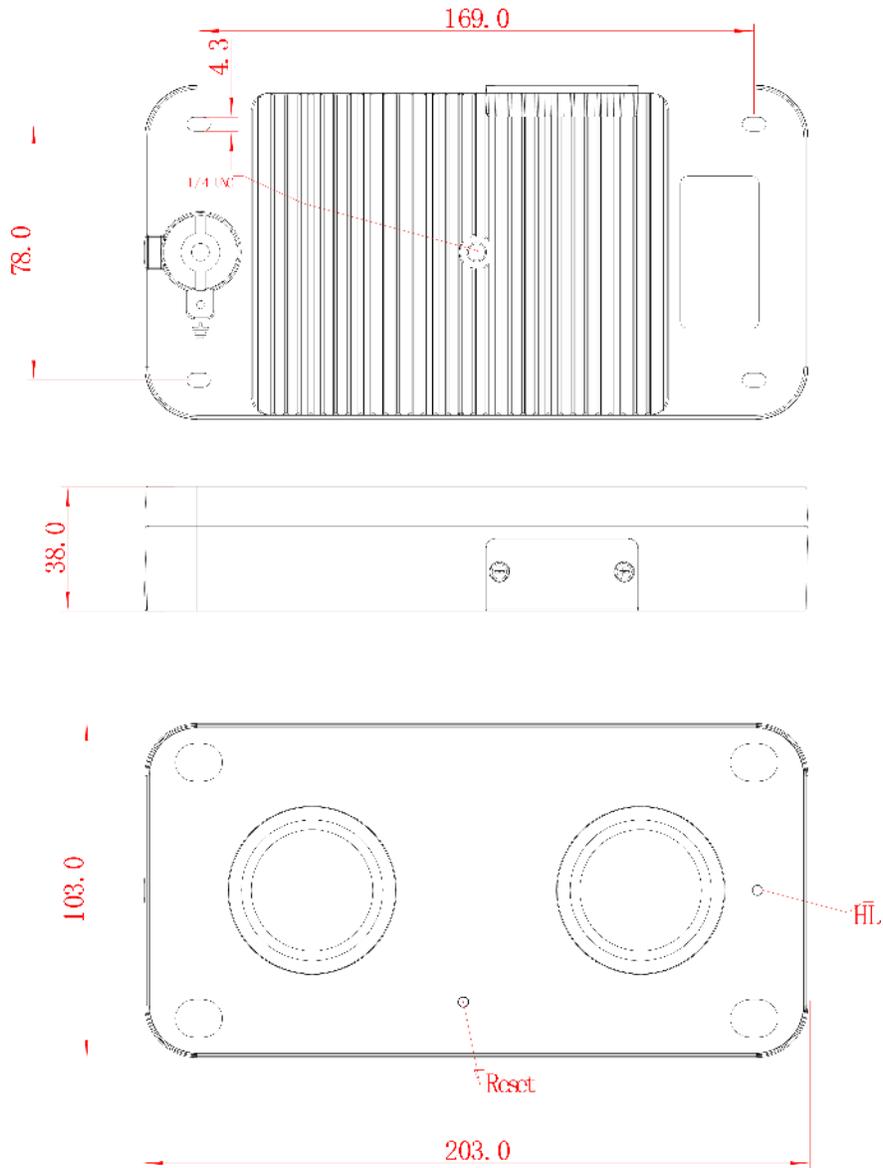


2. 上記の品目に不足または破損がある場合は、販売担当者までご連絡ください。

ハードウェア概要



外形寸法 (mm)

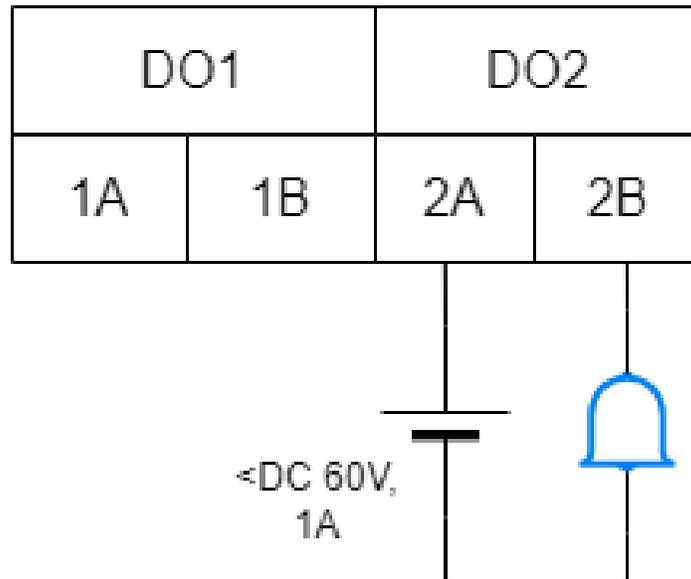


ボタンおよびLEDインジケータ

機能	操作	LED表示
Wi-Fiのオン/オフ	電源ボタンを3秒以上長押ししてください。	<p>電源のオン/オフ：青色のライトが3秒間点滅します。</p> <p>Wi-Fi オン：青色のライトが点灯します。</p> <p>Wi-Fi オフ：緑色のライトが点灯します。</p>

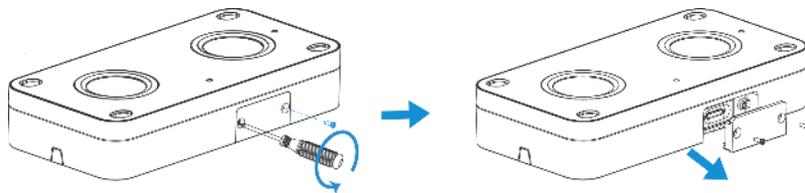
機能	動作	LEDインジケータ
工場出荷時のデフォルト設定にリセット	電源ボタンを10秒以上押し続けてください。	リセット処理が完了するまで、緑色のライトが点滅します。
モジュールまたはアルゴリズムの検出エラー	/	赤色ランプ点灯

配線

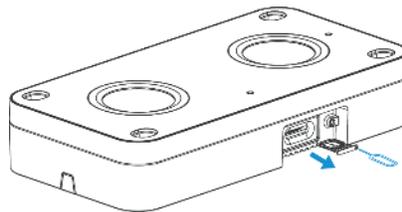


SIMカードの取り付け（携帯電話版のみ）

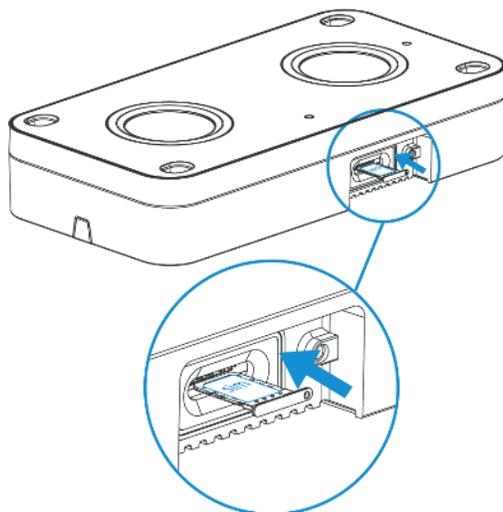
ステップ1：ドライバーを使用して、Nano SIM カードスロットを取り外します。



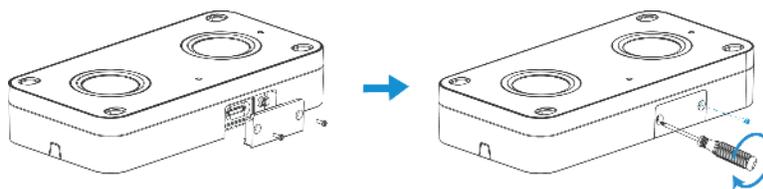
ステップ2：SIM取り出しツールを使用して、SIMトレイを開けます。



ステップ3：Nano SIMカードをSIMカードスロットに挿入し、再度取り付けます。

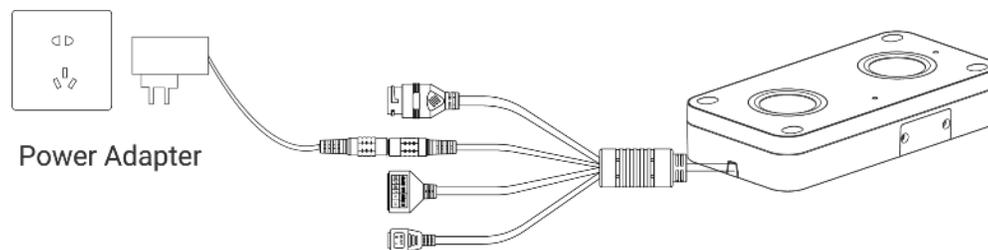


ステップ4：ドライバーを使用してネジを締め、スロットを元の位置に戻します。

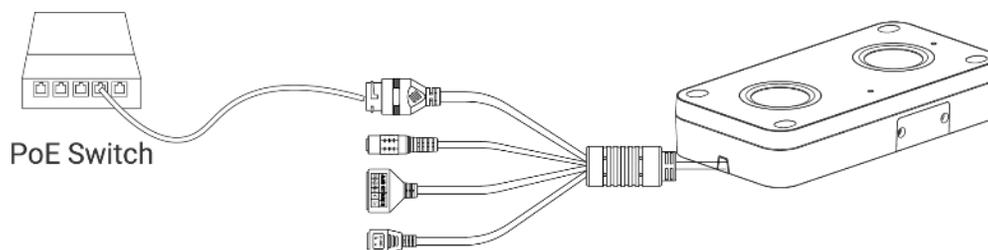


第3章 電源供給

DC電源アダプター（12V、1A）で動作します。



PoEスイッチによる給電（PoEバージョン限定、802.3af規格）



第4章 設置

設置前の準備

設置に関する注意事項

- 設置場所の皆様には、事前に画像が収集される旨（掲示物や利用規約等を通じて）をお知らせいただき、設置前にご同意をいただくことをお勧めいたします。また、画像収集にご同意いただけない場合は、オプトアウト（収集対象外となる選択）が可能であることも併せてお知らせください。
- 本装置は周囲の光に敏感ですので、光量が大きく変動する場所への設置はお控えいただくことをお勧めいたします。
- 反射による誤検知を最小限に抑えるため、ガラスドアや鏡などの鏡面のような表面の近くへの設置はお控えください。やむを得ない場合は、検知ラインまたは検知エリアをこれらの表面から離して配置してください。
- 扇風機のスイッチのドアに装置を設置する場合、装置はドアの反対側に設置する必要があります。
- ドア枠やドア上部への設置には、多機能ブラケット（Milesight社または他社製）をご利用ください。ブラケットを調整し、本機の視野が障害物に遮られないようご確認ください。
- デバイスのライブビューに障害物がないことをご確認ください。
- 最適な深度検出性能を得るためには、環境テクスチャが豊富な場所（例：模様のある床や壁）に本装置を設置してください。無地の白い壁や単色の床など均一な表面は精度が低下する可能性がありますので、避けてください。
- 可能な限り、装置を地面と平行に保ってください。やむを得ない場合は、傾斜角度が10度以内であることをご確認ください。

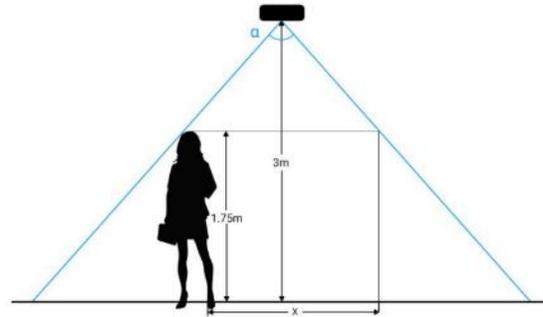
検出範囲

表1. パラメータ定義

パラメータ	説明	値
H	設置高さ	2.2 ~ 6 m
h	目標高さ	例：1.7 m
α	水平視野角	101°
β	垂直視野角	70°
x	検出範囲の長さ	$2 \times \tan(\alpha/2) \times (H-h+0.05)$

パラメータ	説明	値
y	検出範囲の幅	$2 \times \tan(B/2) \times (H-h+0.05)$

検知範囲は、装置の視野角、設置高さ、および対象物の高さに依存します。以下の図は、水平視野角、設置高さ3メートル、対象物高さ1.75メートルを例として説明しています：



例えば、歩者の身長が1.75mの場合、各設置高に対応する検知範囲は以下の通りです：

設置高さ (m)	検知範囲 (m)
2.2	1.21 × 0.7
2.5	1.94 × 1.12
3.0	3.16 × 1.82
3.5	4.37 × 2.52
4.0	5.58 × 3.22
4.5	6.80 × 3.92
5.0	8.01 × 4.62
5.5	9.23 × 5.32
6.0	10.44 × 6.02

設置手順

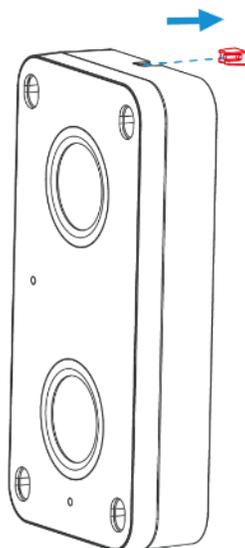


ご注意：

本体の箱に同梱されている**クイックスタートガイド**に従い、本体および付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

天井取り付け

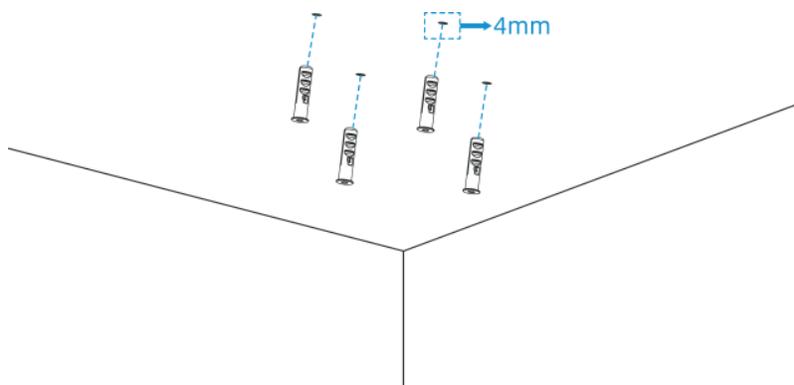
ステップ 1: ケーブルを本体の側面から引き出す必要がある場合は、ゴム製のプラグを取り外してください。



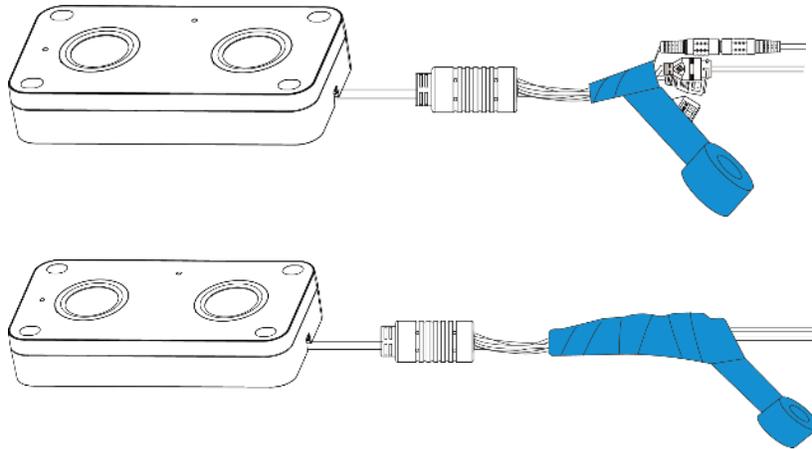
ステップ2: 本体の取り付けパターンに従い、4箇所（直径4mm）の穴を開けてください。

天井内部に電源コードを通す必要がある場合は、追加で穴を開けてください。天井の穴

に拡張ボルトを挿入します。

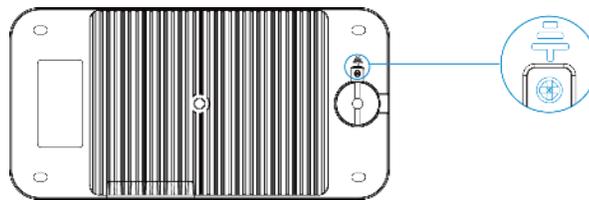


ステップ3: すべての接続部が防水テープで**適切に密封**されていることをご確認ください。



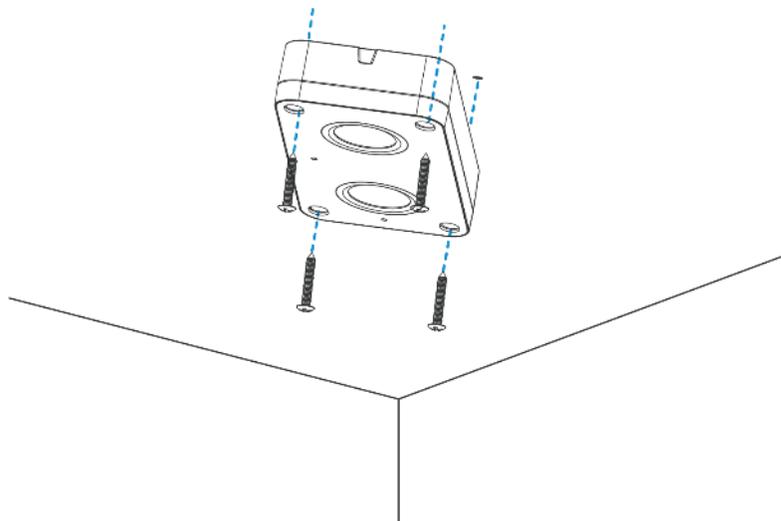
ステップ4: 避雷対策を実施してください。具体的には以下の対策を含みますが、これらに限定されません:

- 装置を接地してください。

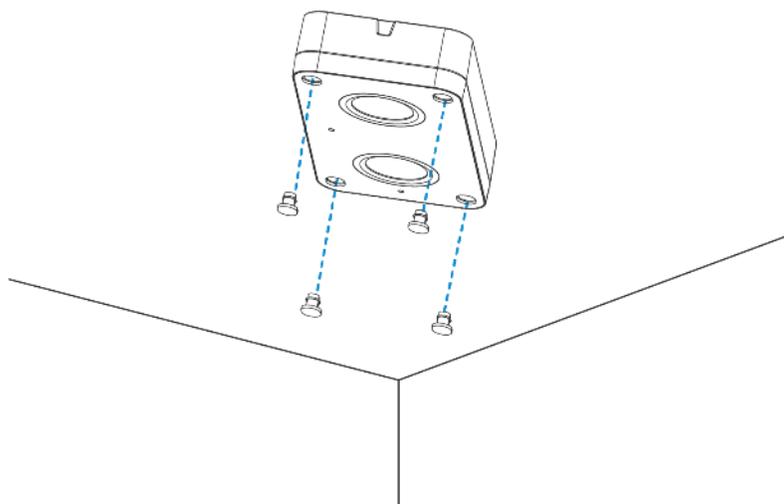


- 必要に応じて、デバイスとPoEインジェクター/スイッチの間にPoEサージプロテクターを設置してください。
- 装置は構造物の最高点より下に設置し、避雷針の保護範囲内にあることをご確認ください。

ステップ5: 取り付けネジを使用して、装置を壁プラグに固定してください。

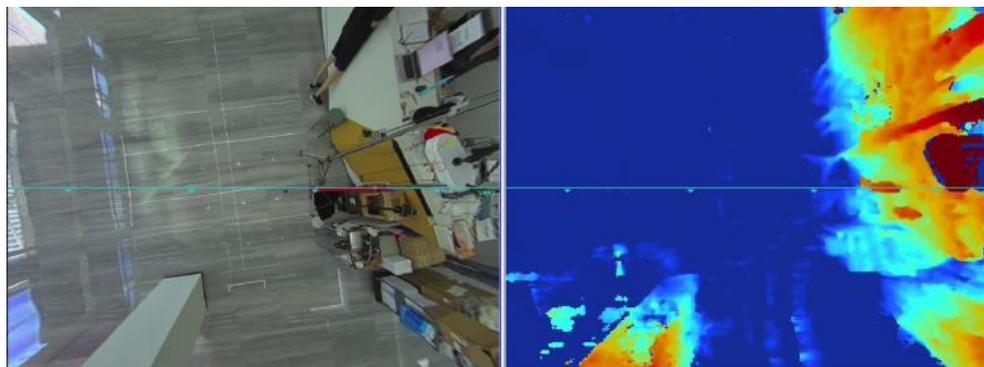


ステップ6：ゴム製ネジ穴プラグを元の穴に戻します。



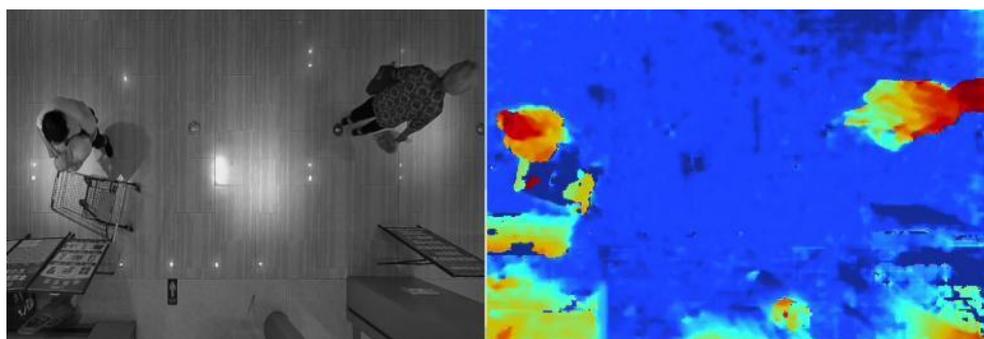
ステップ7：ライブビューをご確認ください。

通常的环境：



地面には水色または青色の斑点模様が現れ、背の高い物体は画像内で次第に赤みを帯びて見えます。

通常ターゲット：



ターゲットには明確な色のグラデーションが確認でき、良好な深度認識を示しています。ライブビューに正常な画像が表示されない場合は、以下の順序で確認してください：

1. レンズの保護フィルムが取り外されていることをご確認ください。
2. 装置が水平に設置されていることをご確認ください（水平から10度以内）。
3. 装置の近くや視野範囲内に物体がないかご確認ください（例：ペンダントライト、ダウンライトなど）。
4. **< Rule >**ページに移動し、自動高さ検出をご利用の上、保存してください。



< Dashboard >に切り替えてライブビューを再度ご確認ください：

- 深度マップが青みがかかった状態の場合は、自動検出値を基に設置高さを手動で上げてください。（±50mm単位での調整をお勧めします。）
 - 深度マップが赤色で占められている場合は、設置高さをそれに応じて下げてください。（±50mmのステップサイズが推奨されます。）
5. 目に見える損傷がなくても、レンズの緩みやハウジングの変形がないかご確認ください。
 6. 問題が解決しない場合は、Milesightの販売担当者までご連絡ください。

精度に影響を与える要因

ライン検出に影響を与える要因：

1. 地面が平坦で模様がない場合、本装置は認識が困難となります。
2. ターゲットと床の色が似ている場合、区別が付きません。
3. 人物と似たような画像の物体は、誤検知される可能性があります。
4. 本装置は、非常に高速（2.5m/s以上）で歩行する人物を正確に認識できない場合があります。
5. 混雑した状況（対象物間の距離が30cm未満）では、検知精度が低下します。

6. 対象物が隣接する物体や他の対象物によって遮蔽されている場合、遮蔽要素が多いほど、検知漏れが発生するリスクが高くなります。
7. お二人のご利用者が検知ラインを同時に通過され、かつ互いに至近距離にいる場合（お一人が入館、もうお一人が退館）、双方ともカウントされない可能性がございます。
8. 視野の端において、あるターゲットが消失し、別のターゲットが同時に出現する場合、ID継承現象が発生する可能性があります。

第5章 センサーへのアクセス

本デバイスは、Wi-Fiまたはイーサネットポート経由で設定アクセスを行うための使いやすいウェブGUIを提供しております。初めて本デバイスをご利用になる際には、パスワードのカスタマイズが必要となります。デフォルト設定は以下の通りです：

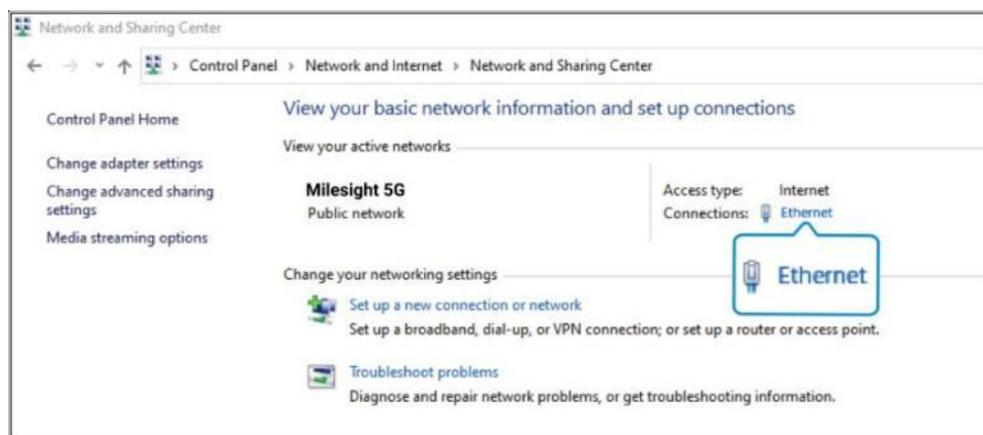
Wi-Fi SSID: **People Counter_xxxxxx** (デバイスのラベルに記載されています)

Wi-Fi IPアドレス : **192.168.1.1**

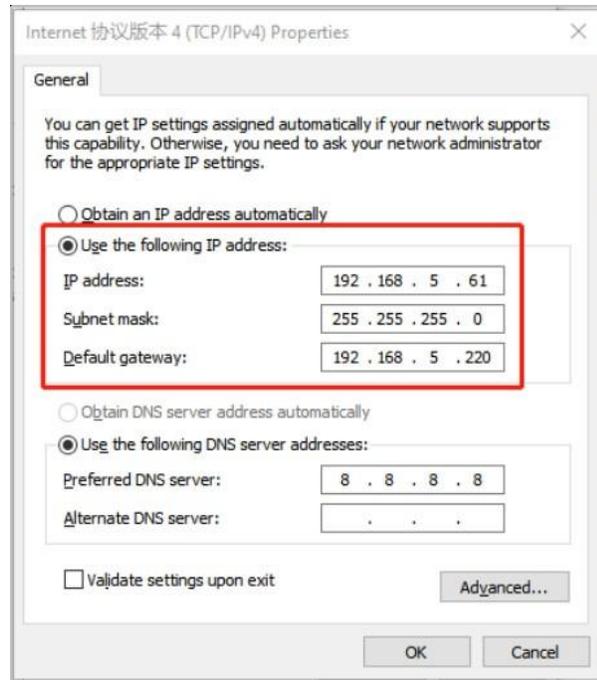
イーサネットIP: **192.168.5.220**

手順1：

- **無線接続方法**：お使いのコンピューターで無線ネットワーク接続を有効にし、該当するWi-Fi SSIDを検索して接続してください。その後、**192.168.1.1**と入力してウェブGUIにアクセスします。
- **有線接続方法 (PoE版のみ)**：デバイスをイーサネットポート経由でコンピューターに接続し、コンピューターのIPアドレスを以下の手順で**192.168.5.0**セグメントに変更してください：
 1. スタートメニュー → コントロールパネル → ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター → イーサネット → プロパティ → インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) の順に選択してください。

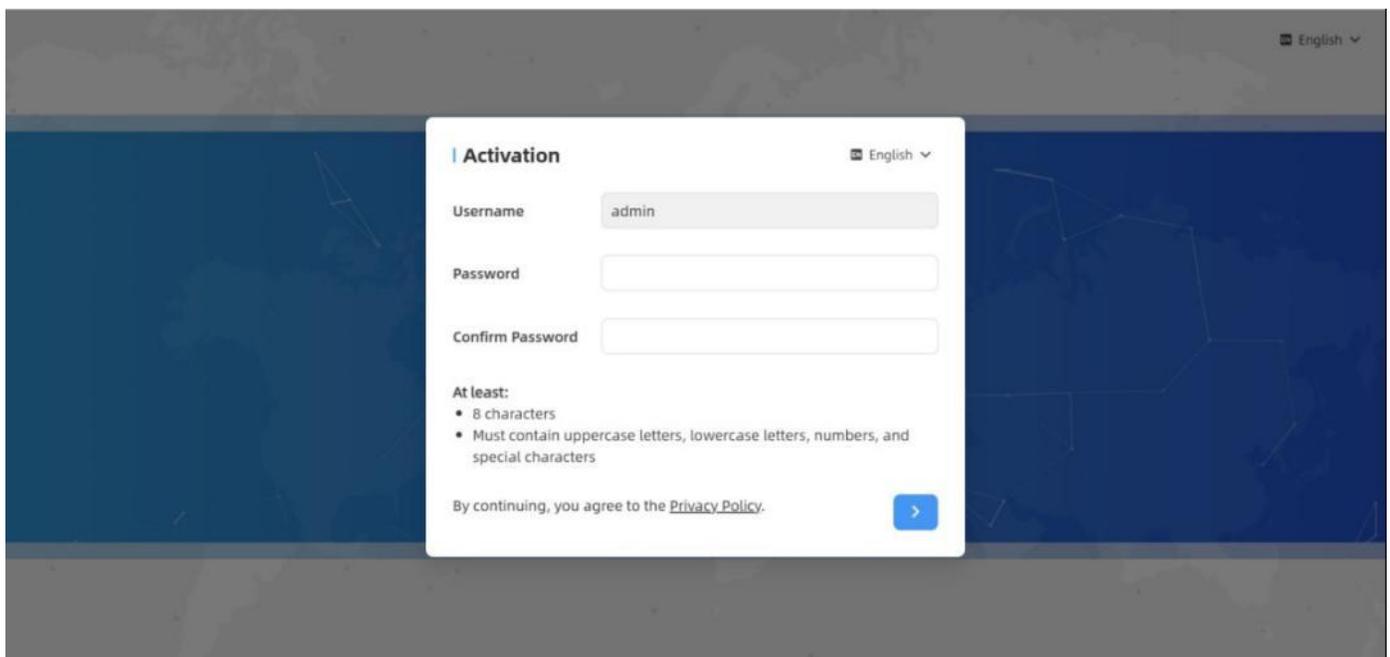


2. センサーと同じネットワークセグメント内のIPアドレスを入力してください (例：**192.168.5.61**。ただし、このIPアドレスは既存ネットワーク上のIPアドレスと競合しないようご注意ください)。



3. その後、ブラウザを開き、192.168.5.220 と入力してウェブ GUI にアクセスしてください。

ステップ2 : センサーを初めてご利用になる際には、パスワードと3つのセキュリティ質問を設定する必要があります。



Set Security Questions English

Security Question1: What is your lucky number?

Answer1:

Security Question2: What is your favorite sport?

Answer2:

Security Question3: What is your favorite color?

Answer3:

By continuing, you agree to the [Privacy Policy](#).

ステップ3 : ダッシュボード上でプレビュー画像モードを選択するため、プライバシー設定を構成してください。



ご注意 :

プライバシー設定をリセットする必要がある場合は、リセットボタンを**10秒間**長押しして、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。

Privacy Settings English

Scene Preview: Video Stream Static Image No Image

Image Type: Monochrome Pseudo-color

Resolution: Low High

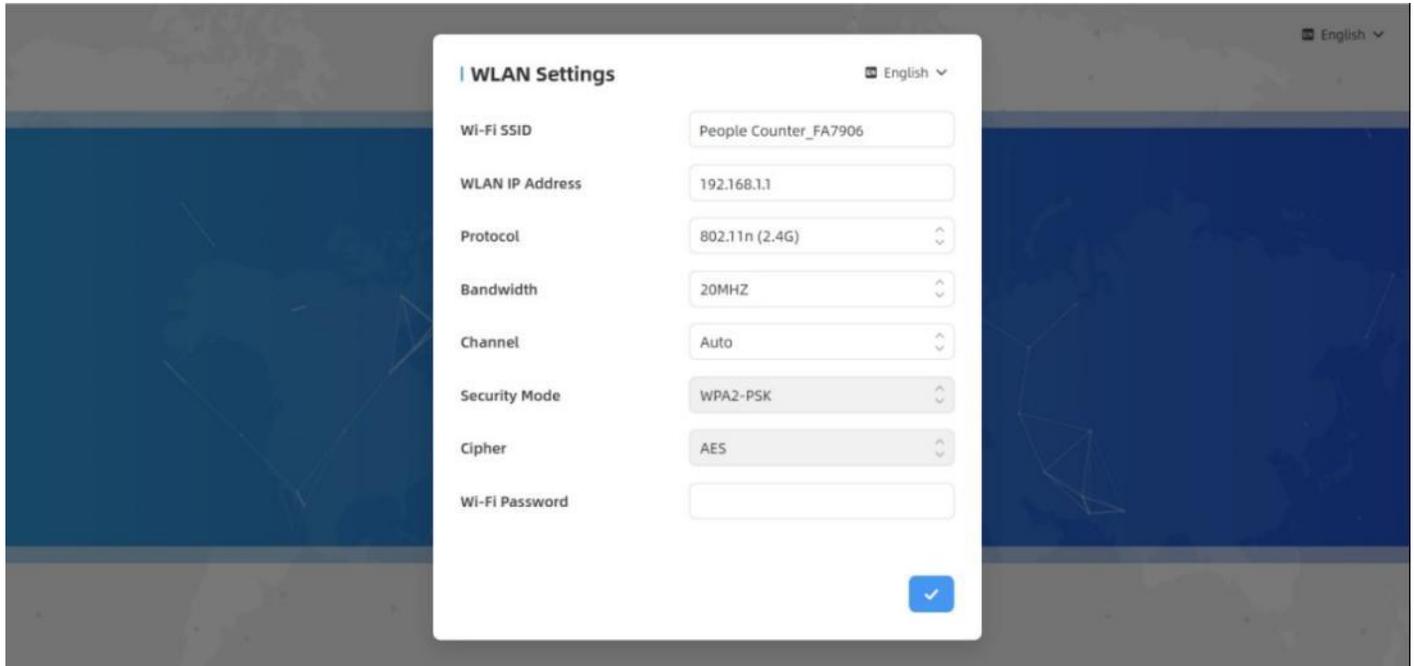
Note: Please note that these settings can only be modified again after performing a hardware reset. Choose your options carefully!

By continuing, you agree to the [Privacy Policy](#).

パラメータ	説明
Scene Preview	<p>必要に応じて、動画ストリームのプレビュー、静止画のプレビュー、または画像プレビューなしを選択してください。</p> <p>Video Stream : 動画のライブプレビューで、動的なシーンや人物を表示します。</p> <p>Static Image : シーンを確認するための静止画像です。</p> <p>No Image : 画像は表示されません。</p>
Image Type	<p>モノクロまたは疑似カラーの画像タイプをお選びください。</p> <p>Monochrome : 黒、白、グレーの画像です。</p> <p>Pseudo-color : 色調強調された画像です。</p>
Resolution	<p>低解像度または高解像度をお選びください。</p> <p>Low : 鮮明度は低くなりますが、シーンや動く人物の視認は可能です。</p> <p>High : 鮮明な風景や人物の顔を表示します</p>

ステップ4 : 設定後、ユーザー名 (admin) と任意のパスワードでログインしてください。

ステップ5 : Wi-Fiパスワードを設定してください。

**ご注意：**

1. パスワードおよびWi-Fiパスワードは、**8文字以上63文字以内**で、**数字、小文字、大文字、特殊文字**を含める必要があります。パスワードを**5回間違えて**入力した場合、アカウントは**10分間**ロックされます。
2. デバイスのセキュリティ強化と不正アクセス防止のため、ユーザーの皆様には定期的なパスワードの更新をお勧めいたします。
3. 事前にセキュリティ質問を設定されている場合、パスワードを忘れた際にはログインページの「パスワードを忘れた場合」をクリックし、**3つのセキュリティ質問**に回答することでパスワードをリセットできます。

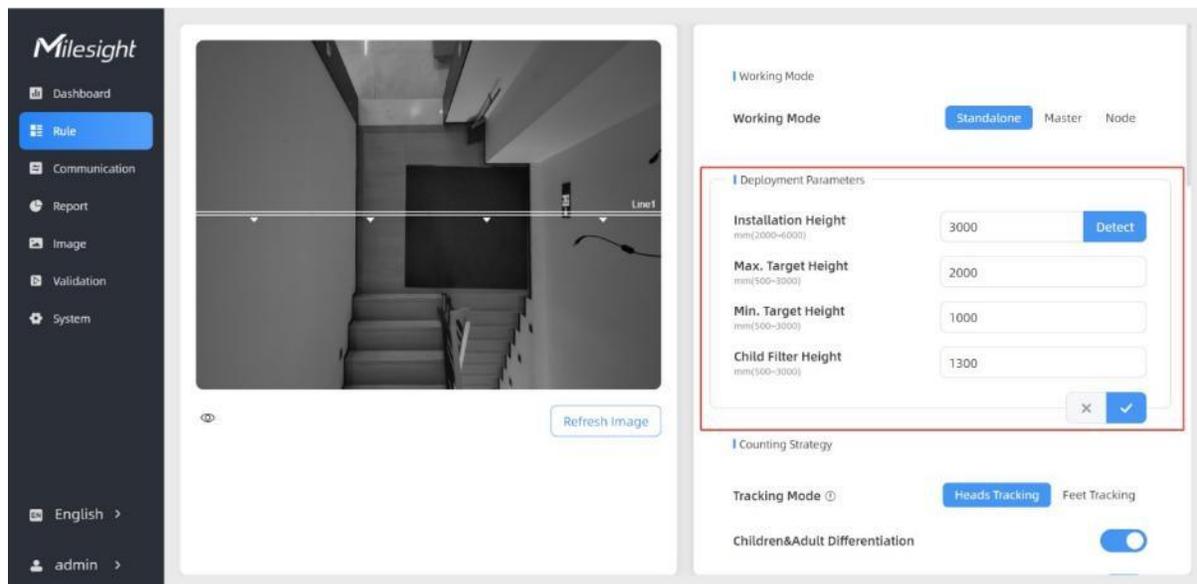
第6章 操作ガイド

基本カウント設定

適切なデバイス動作を確保するため、ユーザーにはまず基本の人数カウント設定を完了していただく必要があります。これには、配置パラメータの設定、デバイス戦略の設定、ライン通過検知またはピープルカウンティングの有効化が含まれます。

設置パラメータ

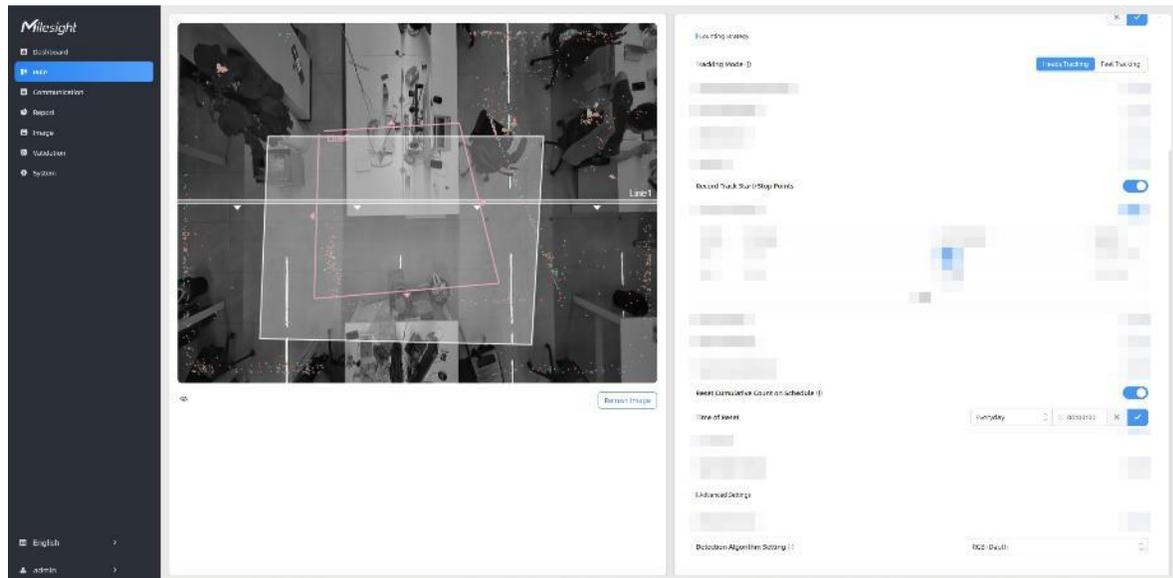
設置パラメータには通常、装置の設置高さ、計測対象物の高さ、および他の計測方式が有効な場合の対応する対象物高さ設定が含まれます。

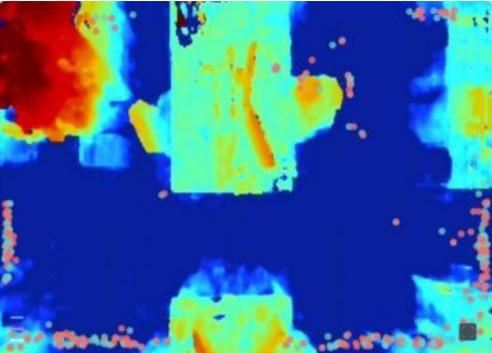


パラメータ	説明
Installation Height	デバイスの設置高さを設定します。「Detect」をクリックすると、現在の設置高さを自動的に検出します。

パラメータ	説明
	<p> ご注意：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最適な性能を発揮させるため、属性認識機能（性別認識、子供と大人の識別、スタッフ検知、視線方向検知など）は、設置高さが4メートル未満の場合にご利用いただくことをお勧めいたします。 2. 地面に模様や質感が乏しい場合、または夜間の低照度環境下では、自動高さ検出が不正確になる場合がございます。
Max. Target Height	最大ターゲット高さを設定すると、この値を超える高さの物体はデバイスが認識しません。
Min. Target Height	最小ターゲット高さを設定すると、この値より低い物体はデバイスによって無視されます。
Child Filter Height	子要素の区別機能が有効な場合、子要素の最大高さを設定します。

デバイス戦略



パラメータ	説明
Tracking Mode	<p>ヘッドトラッキングとフィートトラッキングを含む、カウントの追跡モードを選択します：</p> <p>対象者の両足が視野内に検出された場合、足部の移動経路に基づいて軌跡線を生成します。</p> <p>ターゲットの頭部と肩部が検出されると、頭部と肩部の動きの経路に基づいて対応する軌跡線が生成されます。</p>
Detection Algorithm Setting	<p>実際の用途に応じて検出アルゴリズムをお選びください。</p> <p>RGB+ Depth : ほとんどのシナリオに適しています。</p> <p>RGB : 誤検知が多い場合にこのモードに切り替えてください。非人間物体が多数存在し、人として誤検知されるシーンに適しています。例えば、倉庫の出入り口などが該当します。</p> <p>Depth : 誤検知が多い場合にこのモードに切り替えてください。人形店など、人間に似た物体が多数存在するシーンに適しています。</p>
Record Track Start/Stop Points	<p>ライブビューにおいて、検出ラインの位置調整のため、人物の開始トラックポイントと終了トラックポイントを記録する機能を有効にします。最大5000個のトラックポイントを保存可能で、開始点は緑色、終了点は赤色で表示されます。</p> 
Reset Cumulative Count on Schedule	<p>スケジュールに従い、累積カウントを定期的のリセットする機能を有効にします。</p> <p>累積カウントには以下が含まれます：</p>

パラメータ	説明
	各検知ラインの入出庫総計 各検知領域における最大／平均滞留時間。 各注目領域の総有効視聴者数および平均注目時間。

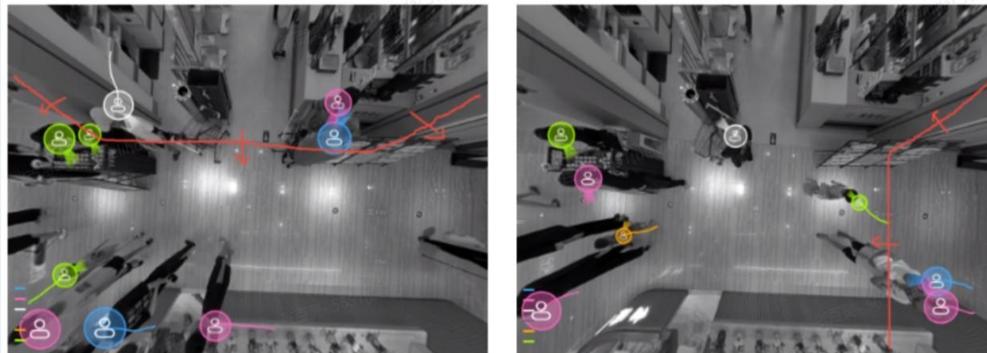
ライン越えカウント

ユーザーは検知ラインを描画し、入退場する人数を計測できます。



注記：

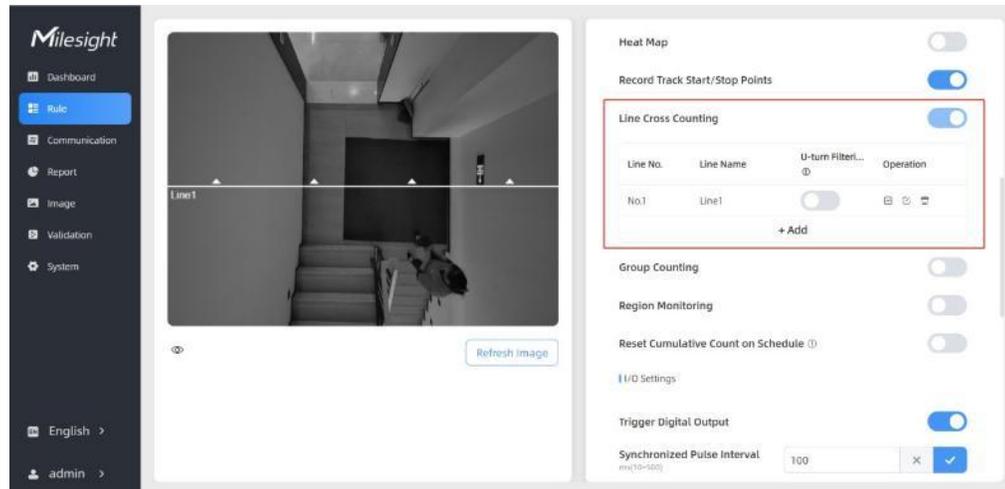
1. 検知対象物が検知ラインを完全に通過できることをご確認ください。検知ラインは出入り方向に対して垂直に、検知エリアの中心に設置し、周囲に他の物体が存在しない状態が推奨されます。



2. ターゲット検出のためには、検知ラインの両側に冗長な識別領域が必要です。これにより、検知ラインを越える前の安定したターゲット認識と追跡が保証され、検知とカウントの精度が向上します。
3. 検出ラインは画像の中心にできるだけ近づけて描画することをお勧めいたします。また、対象物がラインを越える前に、既に検出されていることをご確認ください。

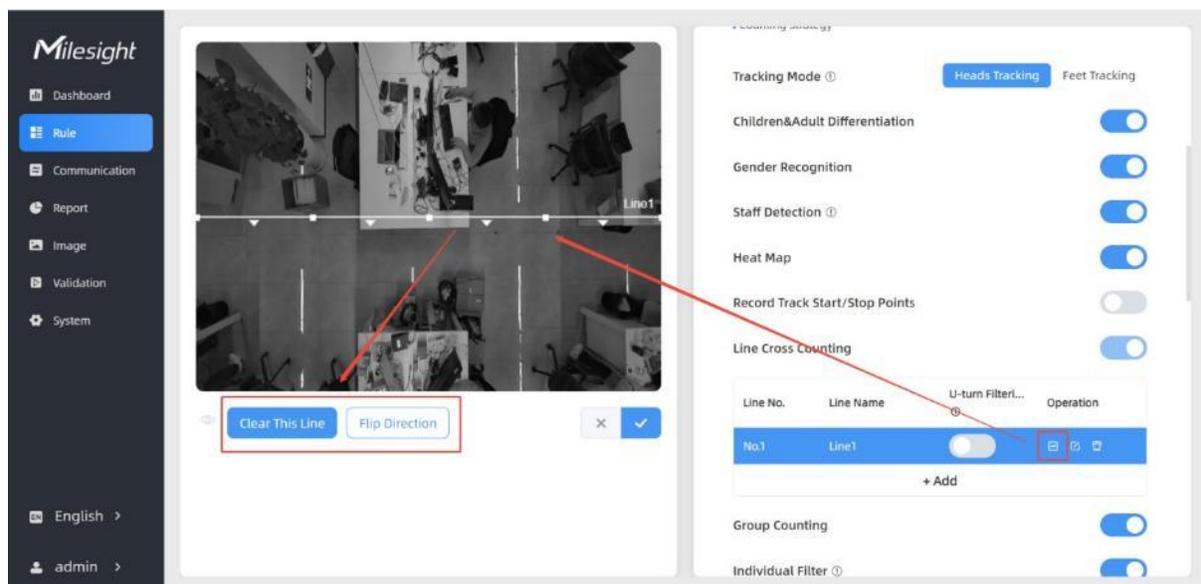
ステップ1：本機能をご利用になる前に、[デプロイメントパラメータ](#)と[デバイス戦略](#)の設定が完了していることをご確認ください。

ステップ2：検知ラインの一覧をお探しください。新しい検知ラインを描画するには「**+Add**」をクリックし、ライブビュー上の既存の検知ラインを編集するには  をクリックしてください。



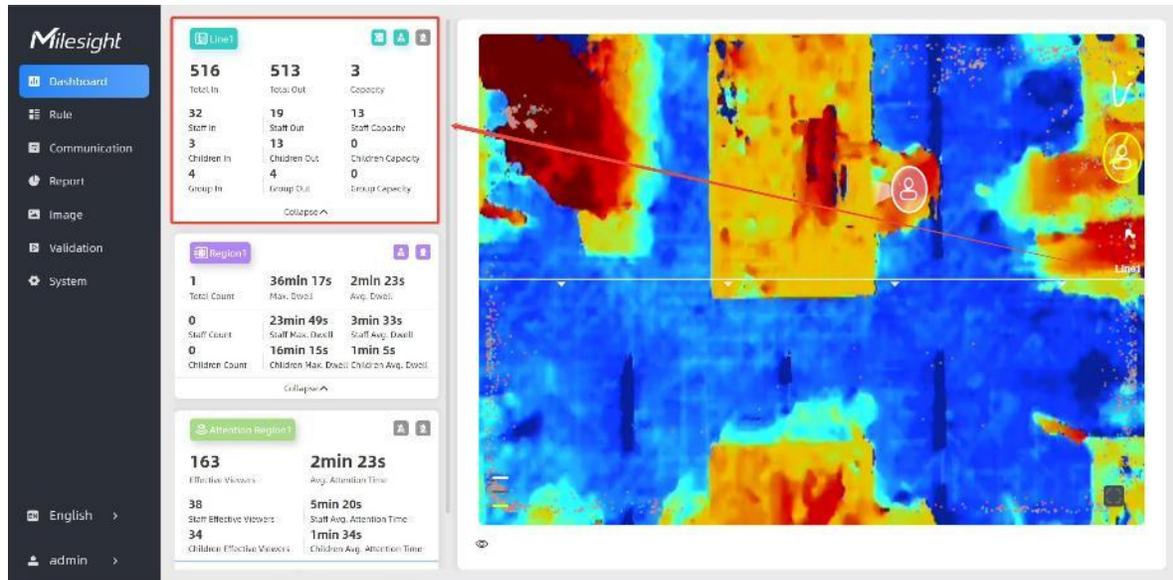
ステップ3 : 左クリックで描画を開始し、マウスをドラッグして線を描きます。再度左クリックすると別の方向の辺を描画し続け、右クリックで描画を完了します。線はドラッグして位置や長さを調整できます。1台のデバイスで最大4本の折れ線を対応し、各線は最大長まで描画可能です。

ステップ4 : この線を再描画したい場合は、「**Clear This Line**」をクリックするか、折れ線の頂点をドラッグして調整してください。検出線の矢印の方向は、描画方向によって異なります。線を反転させる必要がある場合は、「**Flip Direction**」をクリックしてください。その後、「」をクリックして描画を完了します。

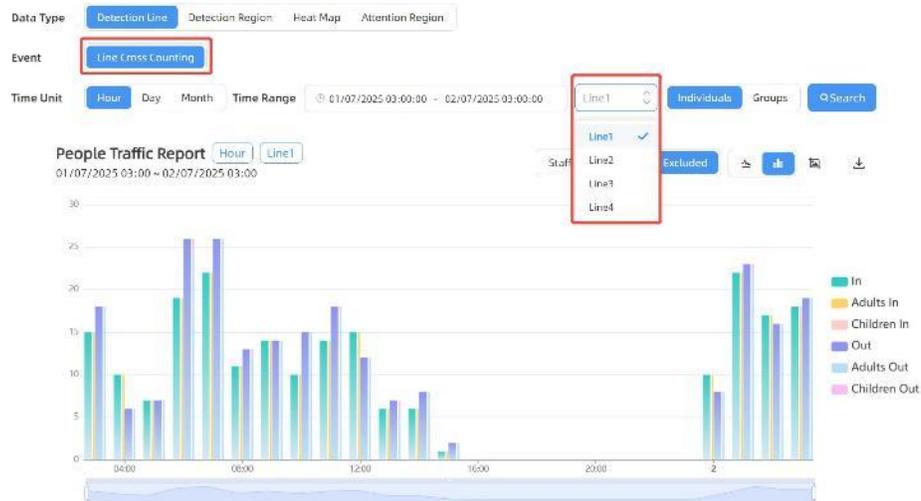


ステップ5 : ユーザーは  をクリックして線の名前をカスタマイズできます。特定の線を削除する必要がある場合は、 をクリックしてください。

ステップ6 : **ダッシュボード**で効果をご確認いただけます。



特定の期間におけるラインのデータを閲覧し、レポートを生成するには、[レポート機能](#)をご参照ください。



Advanced Properties

Zone Name

Region People Counting

Pass-by Filtering
s(0-3600)

Dwell Time Detection

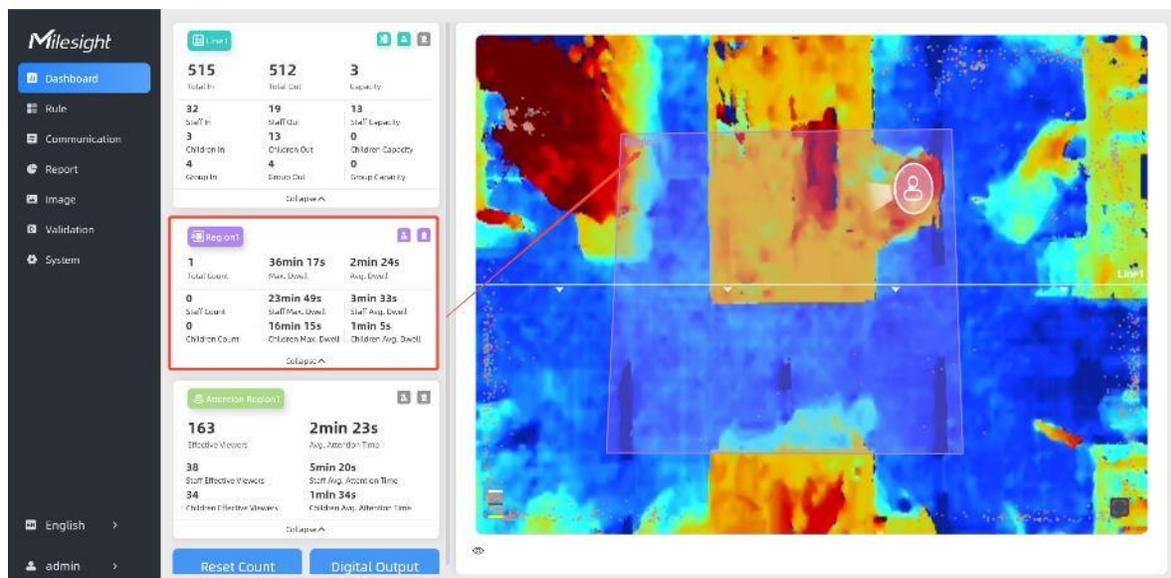
Min. Dwell Time
s(0-3600)

ステップ4：設定が完了すると、設定内容がリストに表示されます。リスト内の再描画ボタンをクリックすることで、領域を再描画できます。編集ボタンをクリックすると領域の詳細設定を変更でき、削除ボタンをクリックすると各領域を個別に削除できます。

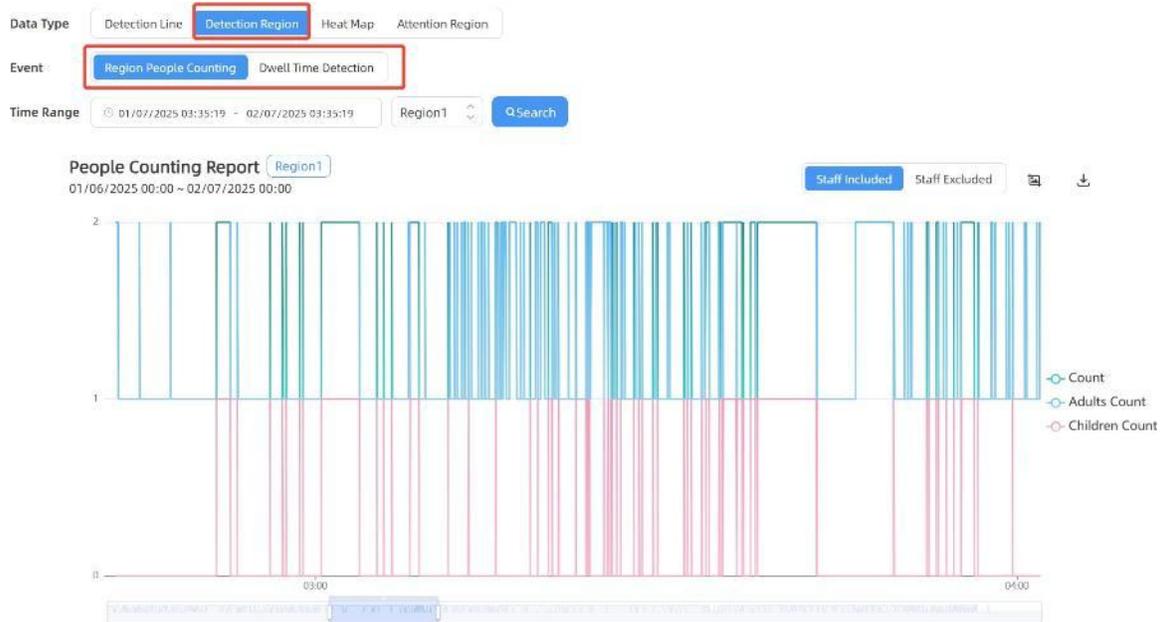
Region Monitoring

No.	Region Name	Advanced Properties	Operation
No.1	Region1	Region People Counting(5s)	<input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="✕"/>
+ Add			

ステップ5：ダッシュボードで効果をご確認いただけます。



特定の期間におけるリージョンのデータを閲覧し、レポートを生成するには、「レポート」をご参照ください。



定期レポートでは「region_data」、トリガーレポートでは「region_trigger_data」を確認できます。

```

"region_data": {
  "dwelt_time_data": [{
    "avg_dwelt_time": 308367,
    "children_avg_dwelt_time": 0,
    "children_max_dwelt_time": 0,
    "female_avg_dwelt_time": 0,
    "female_max_dwelt_time": 519934,
    "male_avg_dwelt_time": 0,
    "male_max_dwelt_time": 96799,
    "max_dwelt_time": 519934,
    "staff_max_dwelt_time": 1522,
    "staff_avg_dwelt_time": 1522,
    "region": 1,
    "region_name": "Region1",
    "region_uuid": "bd1e6ce2-e113-4ce4-a9b6-0633f7083cac"
  }
],
  "region_count_data": [{
    "total": {
      "current_female": 0,
      "current_male": 1,
      "current_total": 2
    },
  },
  "children": {
    "current_female": 0,

```

```

"region_trigger_data":
{
  "region_count_data":
[
  {
    "total": {
      "current_female": 0,
      "current_male": 1,
      "current_total": 2
    },
  },
  "children": {
    "current_female": 0,
    "current_male": 1,
    "current_total": 2
  },
  "staff": {
    "current_female": 0,
    "current_male": 1,
    "current_total": 2
  },
  "region": 1,
  "region_name": "Region1",
  "region_uuid": "bd1e6ce2-e113-4ce4-a9b6-0633f7083cac"
}

```

詳細プロパティ設定

高度な特性機能はAI認識技術を活用し、様々な対象特性を知的に識別いたします。高度な特性機能をご利用になる前に、[基本計数機能](#)の設定が完了していることをご確認ください。

お子様と大人の区別

本装置は、子供フィルター閾値未満の個人を子供として識別いたします。



ご注意：

本機能の動作設置高さは2.2～4mです。

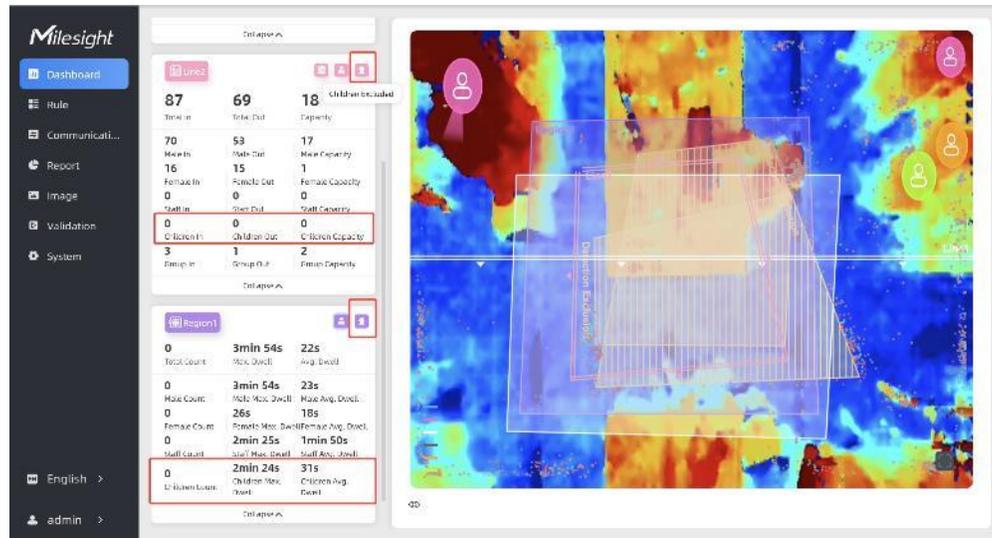
ステップ1：Children & Adult Differentiationを有効にすると、子供フィルターの高度に関する開発パラメータが表示されます。

The screenshot shows the 'Deployment Parameters' section of a configuration interface. It includes several input fields and a toggle switch:

- Installation Height** (mm(2000-6000)): 2459
- Max. Target Height** (mm(500-3000)): 1998
- Min. Target Height** (mm(500-3000)): 1000
- Child Filter Height** (mm(500-3000)): 1500 (highlighted with a red box and a red arrow)
- Counting Strategy**: A blue checkmark icon is visible.
- Tracking Mode**: Two buttons, 'Heads Tracking' and 'Feet Tracking', are present.
- Children&Adult Differentiation**: A toggle switch is turned on (highlighted with a red box).

ステップ2：しきい値を入力してください。この値より身長が低い方は、デバイスによってお子様として識別されます。その後、「」をクリックして設定を完了してください。

ステップ3：[ダッシュボード](#)で効果をご確認いただけます。



特定の期間におけるお子様のデータを閲覧し、レポートを生成するには、「レポート」をご参照ください。



定期レポートやトリガーレポートを通じてデータを確認することも可能です。



ご注意：

身長1.1メートル未満のお子様、ベビーカーやショッピングカートに乗っているお子様、抱っこされているお子様、大人の方に覆われているお子様は、数え漏れの可能性があります。

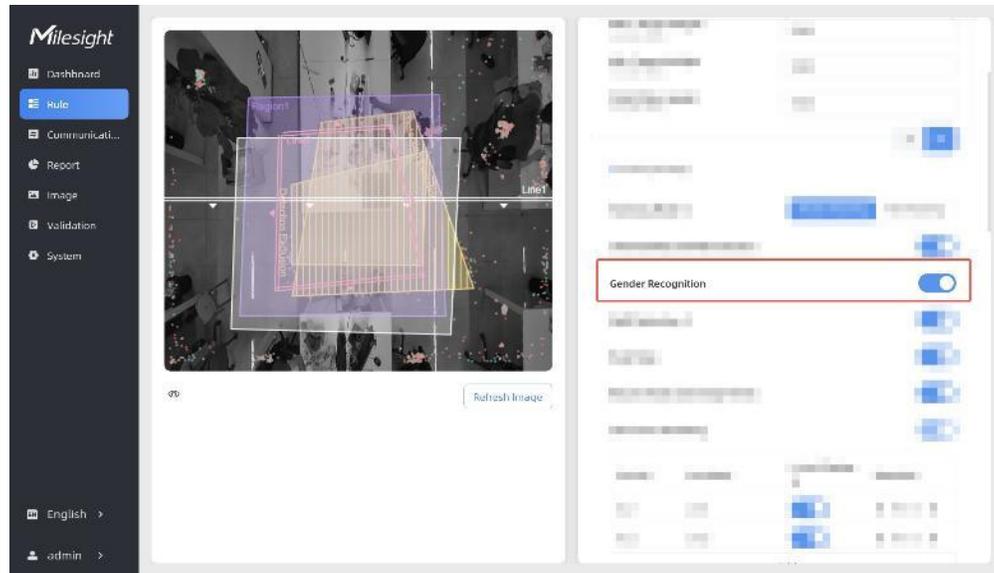
性別認識

本装置は、男性または女性の方を検知いたします。

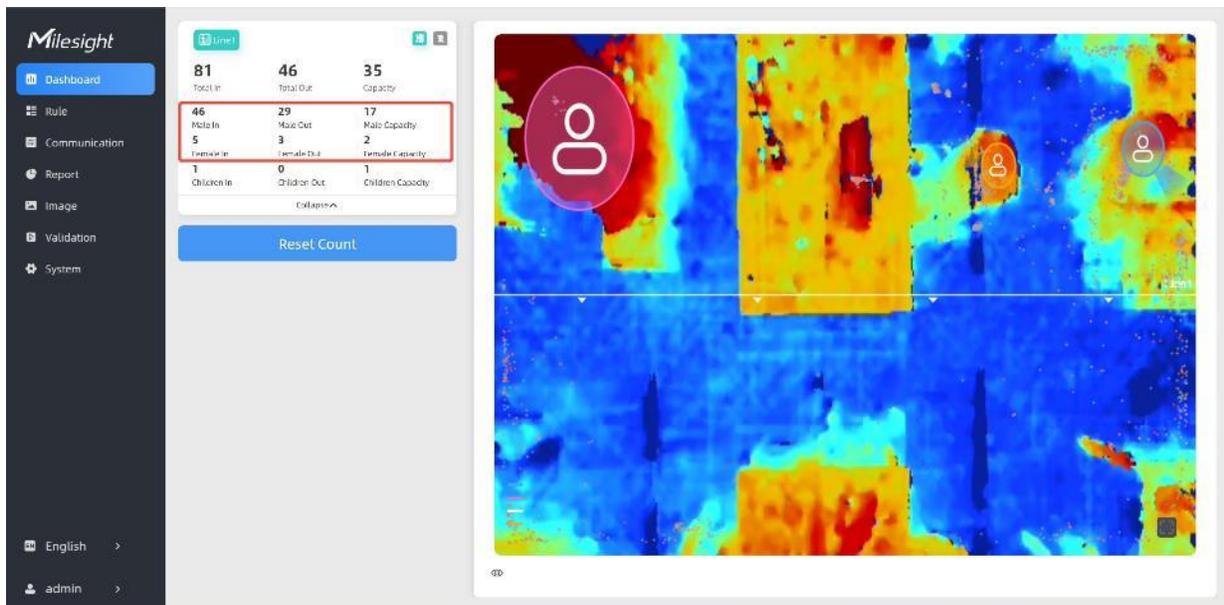


ご注意：

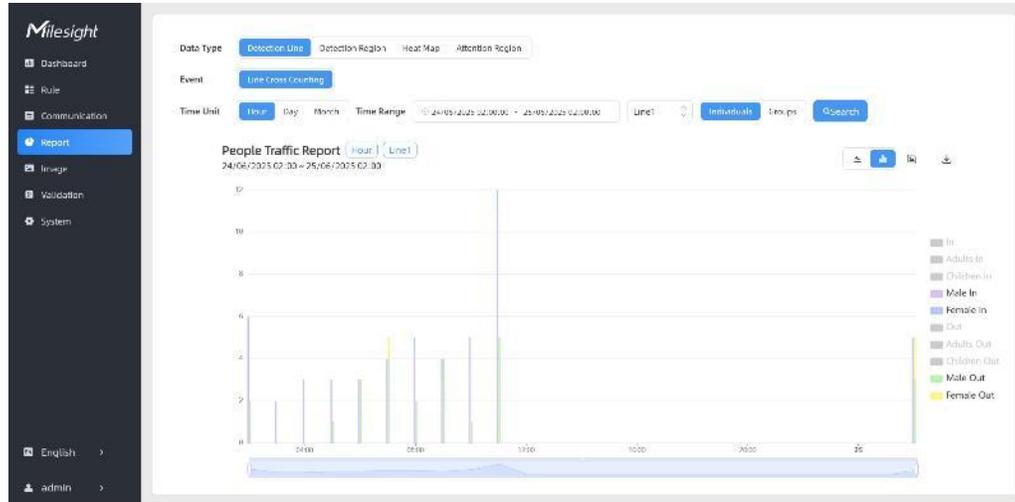
本機能の動作設置高さは2.2～4mです。



性別認識機能を有効にすると、ダッシュボードで効果を確認できます。



特定の期間における男性・女性のデータを閲覧し、レポートを生成するには、レポート機能をご参照ください。



定期レポートおよびトリガーレポートを通じてデータを確認することも可能です。

📢 ご注意：

1. 性別検出は、対象者の髪が男性で長く、女性で短い場合、誤検出が生じやすくなります。
2. 床の色に近い髪や衣服の色の場合、あるいはヘッドスカーフなどの大きな隠蔽アクセサリを着用している場合、本装置は男性と女性を識別できません。

スタッフ検出

指定されたアクセサリを着用しているスタッフを本装置は検出いたします。

❗ 重要：

1. 本機能の動作設置高さは**2.2~4m**です。
2. バッジの最適な検知高さは**2.2~3.5メートル**です。高さが**3.5メートル**を超えると、鮮明度が低下するため検知漏れが発生する可能性が大幅に高まります。

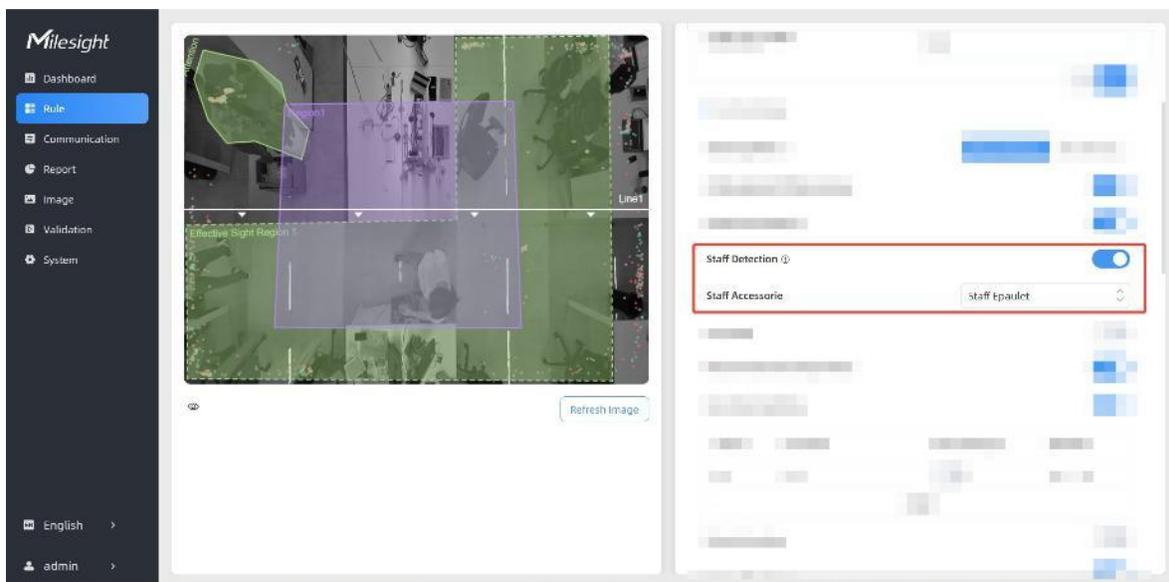
ステップ1：本体箱内のオプション付属品が全て揃っているかご確認ください。最適な検知のため、Milesight社提供のスタッフ用付属品のご使用をお勧めいたします。スタッフの皆様には、所定の位置に該当する付属品を装着していただく必要がございます。



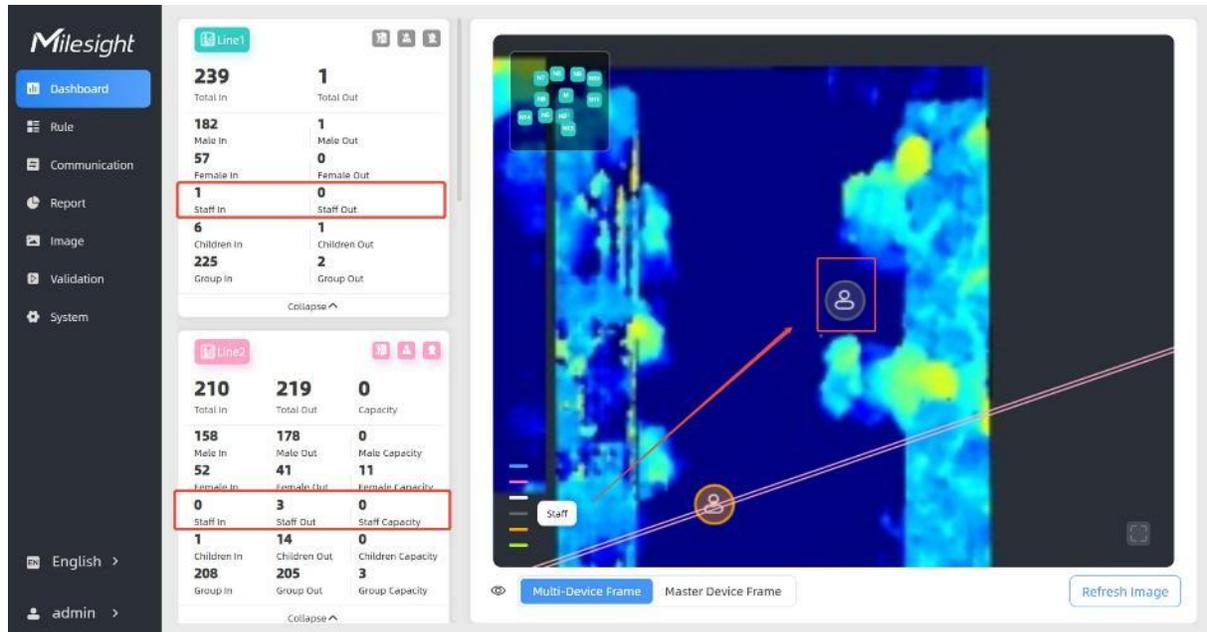
ご注意：

1. 杖のアクセサリーには、黒と赤の2色がございます。杖の衣装がより暗い色合いの場合には、赤の杖アクセサリーのご使用をお勧めいたします。これにより、視認性が向上いたします。
2. スタッフ用ネックストラップ、バッジ、肩章はそれぞれ別々にテストの対象となりますため、混在させてはなりません。つまり、複数の種類の付属品が同時に同じ場面に存在することは避けるべきです。
3. アクセサリーをご着用の際には、首輪、スカーフ、髪、その他の物で覆われないようご注意ください。また、アクセサリーが完全に視認できる状態を保つよう心がけてください。

ステップ2：スタッフ検出を有効にし、該当するアクセサリーを選択してください。



ステップ3：ダッシュボードで効果をご確認いただけます。



特定の期間におけるスタッフのデータを閲覧し、レポートを生成するには、「レポート」をご参照ください。

Data Type:

Event:

Time Unit: Time Range:

People Traffic Report

22/06/2025 08:00 ~ 23/06/2025 08:00

定期レポートおよびトリガーレポートを通じてデータを確認することも可能です。

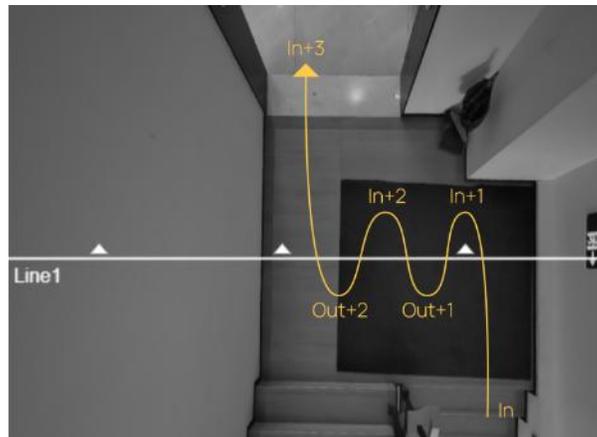
📢 ご注意：

1. 二人が並んで歩いている場合、スタッフ用のアクセサリを身につけていない方は、スタッフであることが容易に判別できますが、アクセサリを身につけている方は判別できません。
2. スタッフ用ストラップと似た模様の衣類（縞模様の衣類など）を着用されると、誤検知の原因となる場合がございます。
3. スタッフの通過速度が2.5m/sを超える場合、検知漏れが発生する可能性があります。

Uターンフィルタリング

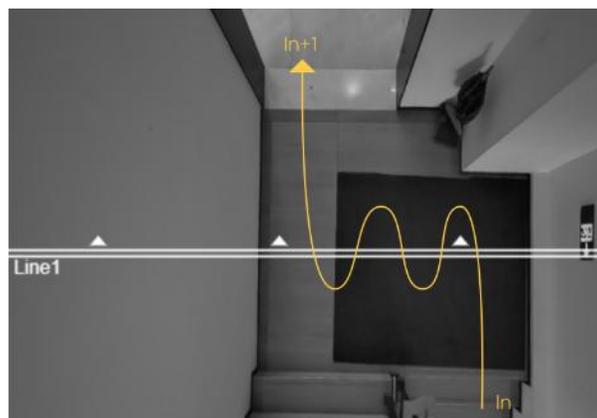
本装置はUターンフィルタリング機能を対応しており、実際に入出口を出入りしていない人を除外することで、重複計数を防止します。ユーザーは各ラインごとにエリアを描画でき、人がこのエリアを通過した場合にのみ入退場の値を計測します。

Uターンフィルタリングを無効にするには：



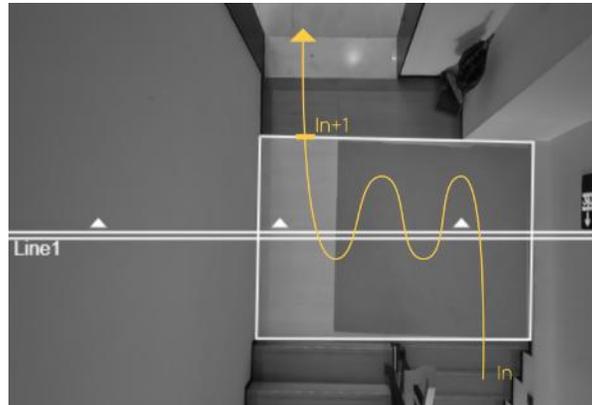
Uターンフィルタリングを有効にする：

本装置はライブビューにおいて、うろつく群衆を自動的に除外いたします。



Uターンフィルタリングを有効化&エリア描画：

統計のタイムリーさを重視される場合、Uターンエリアの描画を選択いただけます。

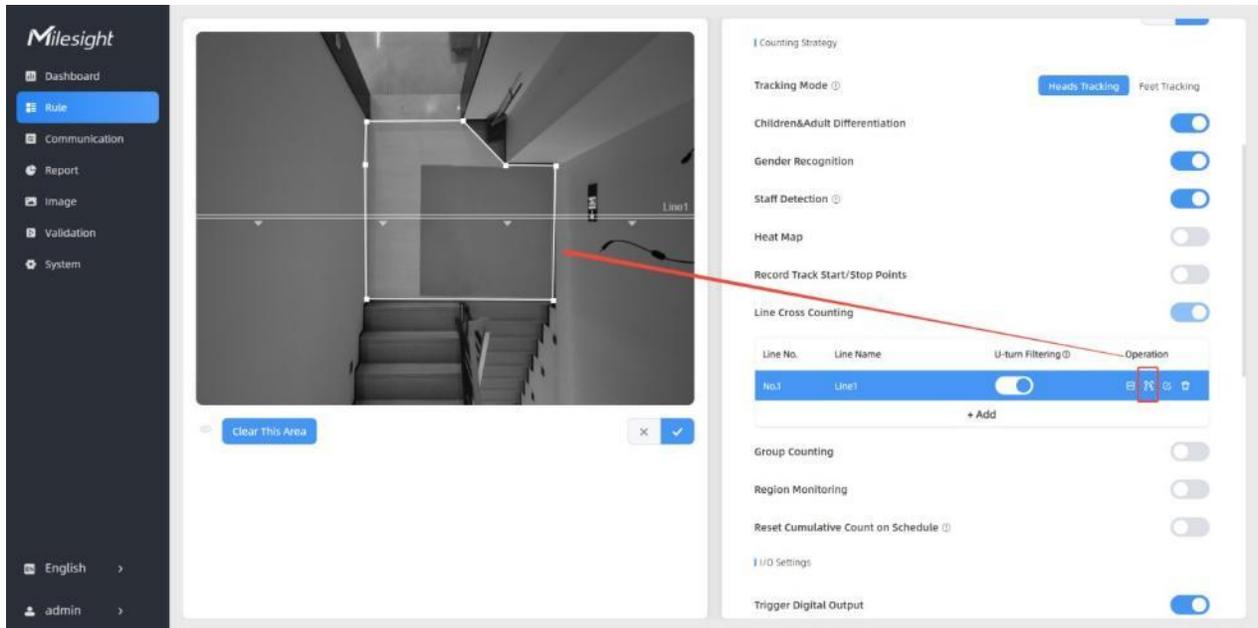


ステップ1 : Uターンフィルタリングを有効にし、重複カウントをフィルタリングします。

Line No.	Line Name	U-turn Filter...	Operation
No.1	Line1	<input checked="" type="checkbox"/>	[Edit] [Refresh] [Delete]

Uターンエリアのフィルタリングをご利用になる場合は、以下の手順に従ってください：

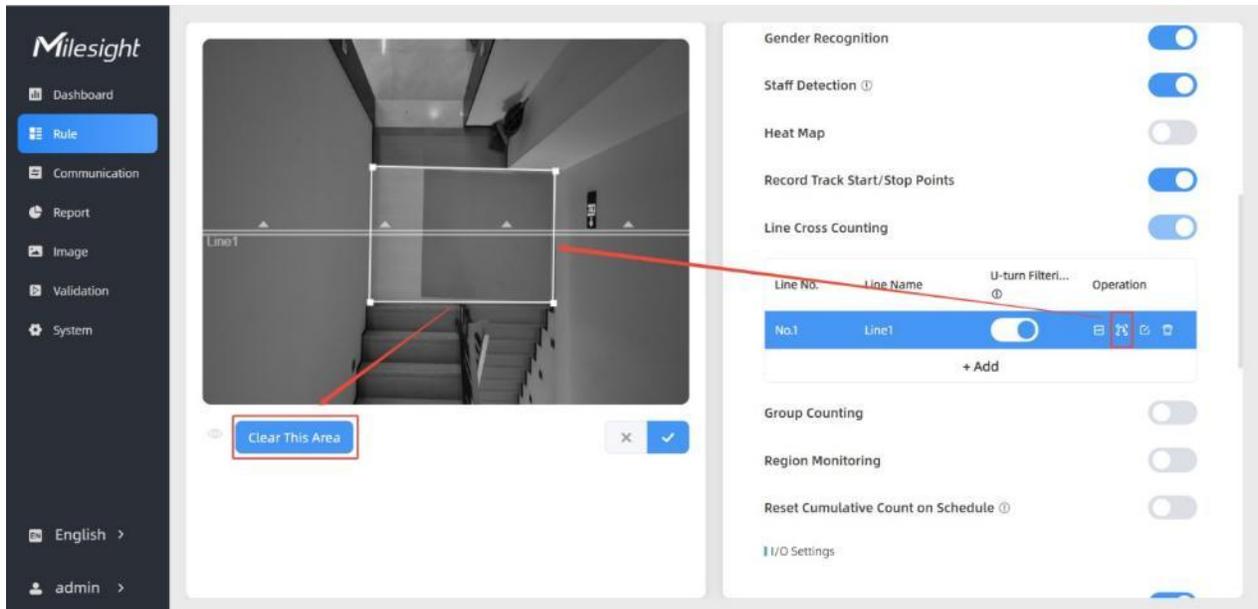
ステップ2 :  をクリックし、ライブビュー上の既存検知ラインのUターン区域を編集してください。



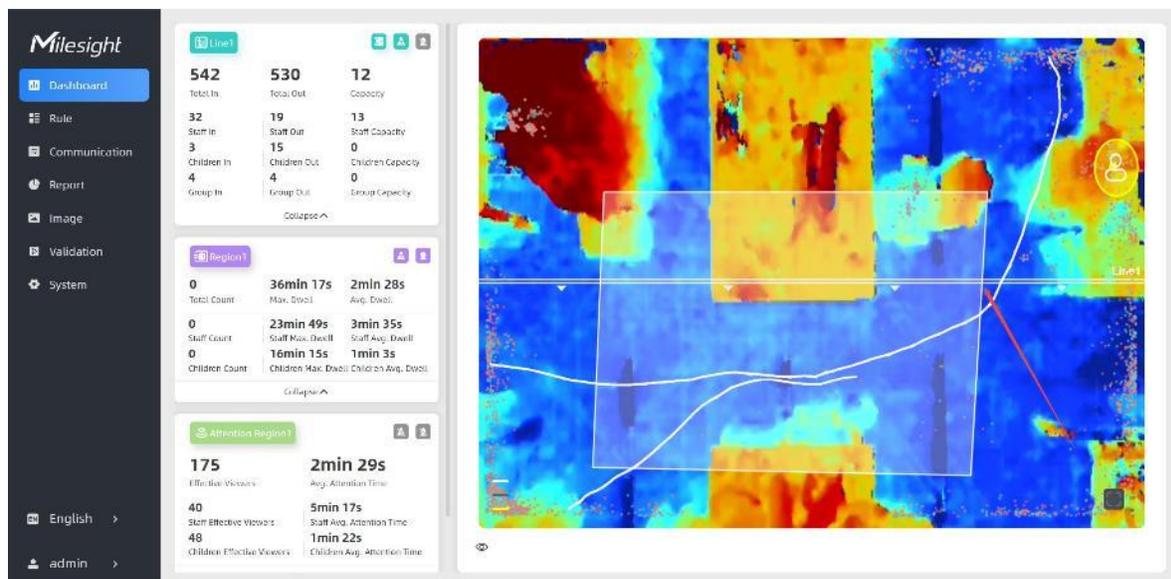
ステップ3 : 左クリックで描画を開始し、マウスをドラッグして辺を描画します。再度左クリックすると別の方向の辺を描画できます。右クリックで描画を終了します。領域はドラッグして位置や長さを調整可能です。1台のデバイスで最大4つの領域に対応し、各領域は最大10セグメントまで設定できます。

ステップ4 : 領域を再描画したい場合は、「**Clear This Area**」をクリックするか、領域の頂点をドラッグして調整してください。その後、 をクリックして描画を終了します。

ステップ5 : 特定のUターン区域を削除する必要がある場合、 をクリックし、次に「**Clear This Area**」をクリックしてください。

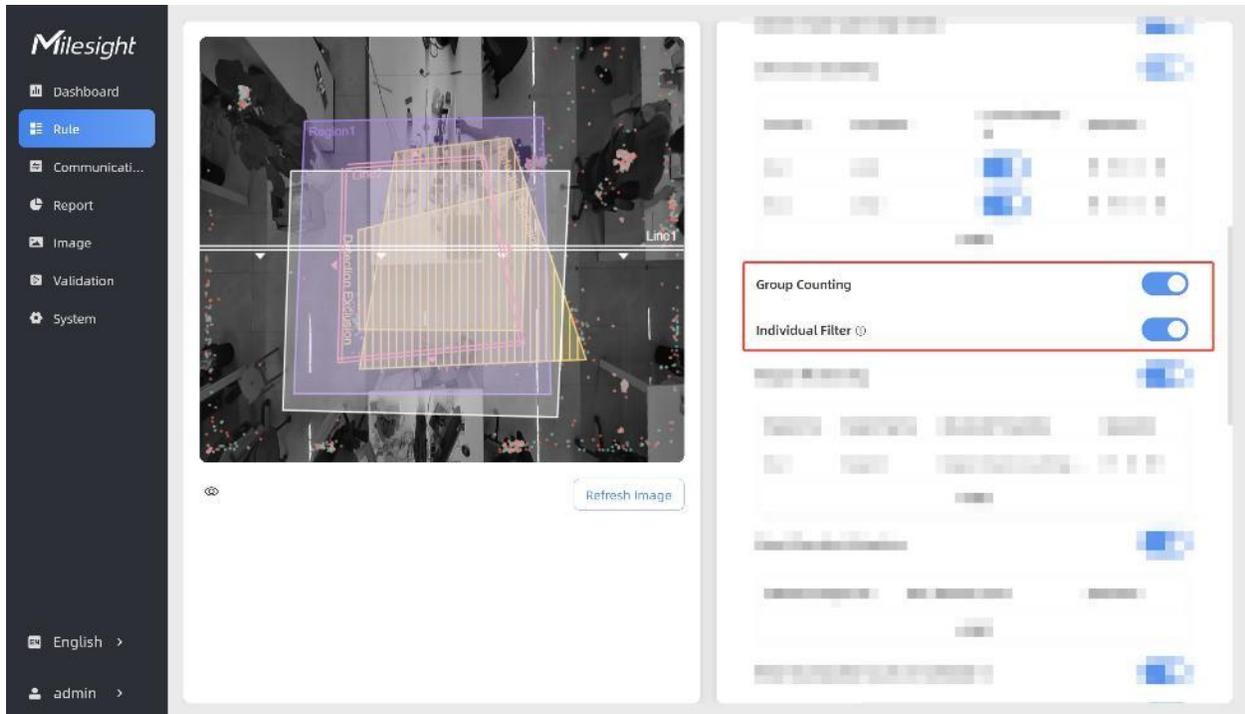


ステップ6: ダッシュボードで効果をご確認いただけます。



グループ集計

本装置は、同一時間帯に検知エリアへ入室または通過する複数の人物を同時に認識・計数することが可能です。距離、移動方向、速度の差異を分析することにより、お客様の行動パターンをより深く把握いたします。



ステップ1 : グループカウント **group counting** 機能を有効にするにはクリックしてください。これにより、デバイスは複数の人々を1つのグループとして認識します。

ステップ2 : 個人フィルター **Individual Filter** の有効化または無効化を選択します。有効化すると、デバイスは2名以上の個人をグループとしてのみカウントします。

ステップ3 : **ダッシュボード** で効果をご確認いただけます。

Line2		
171 Total In	136 Total Out	35 Capacity
138 Male In	110 Male Out	28 Male Capacity
32 Female In	25 Female Out	7 Female Capacity
0 Staff In	0 Staff Out	0 Staff Capacity
0 Children In	0 Children Out	0 Children Capacity
10 Group In	2 Group Out	8 Group Capacity

Collapse ^

特定の期間におけるグループデータを閲覧し、レポートを生成するには、[レポート機能](#)をご参照ください。

Data Type:

Event:

Time Unit: Time Range: Line1

[定期レポート](#)や[トリガーレポート](#)を通じてデータを確認することも可能です。

方向検知の表示

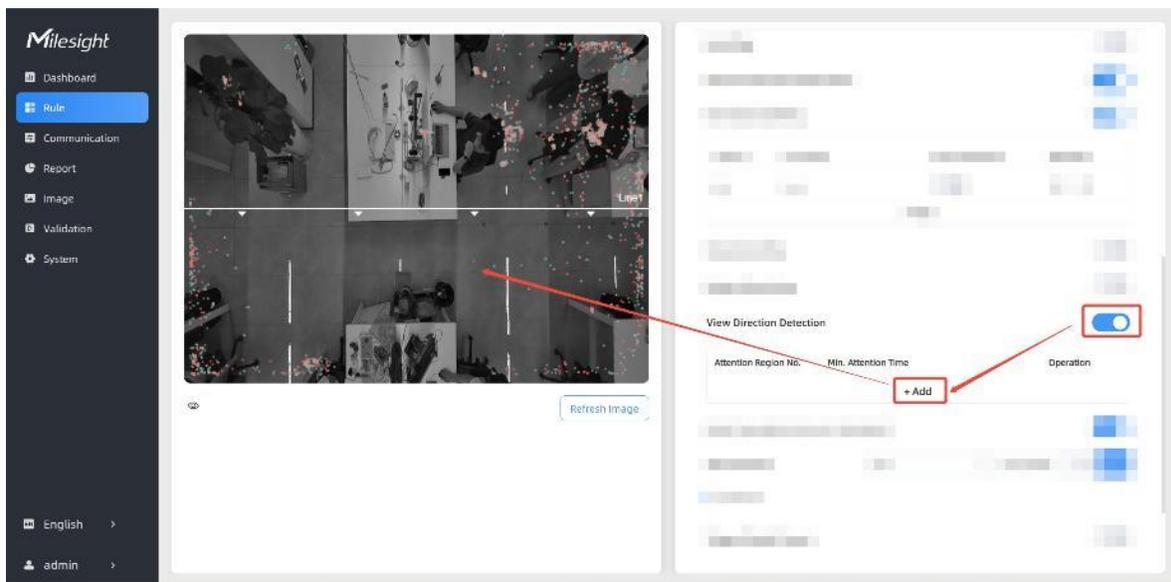
本デバイスは、ターゲットの視線経路を追跡することで、広告の実際の到達効果を効果的に評価することが可能です。

この装置は、眼球の視線を直接追跡するのではなく、対象者の頭部の向きを検知することで視認方向を認識します。したがって、対象者が目を動かしても頭部を動かさない場合、装置は視線の方向変化を正確に感知できない可能性があります。

! 重要：

1. 本機能の動作設置高さは2.2～4mです。
2. 追跡モードが「足追跡」の場合、本機能には対応していません。
3. 複数のデバイスをスティッチングした場合、視線方向の表示が異なる可能性があるため、この機能はスタンドアロンモードでのみご利用いただけます。

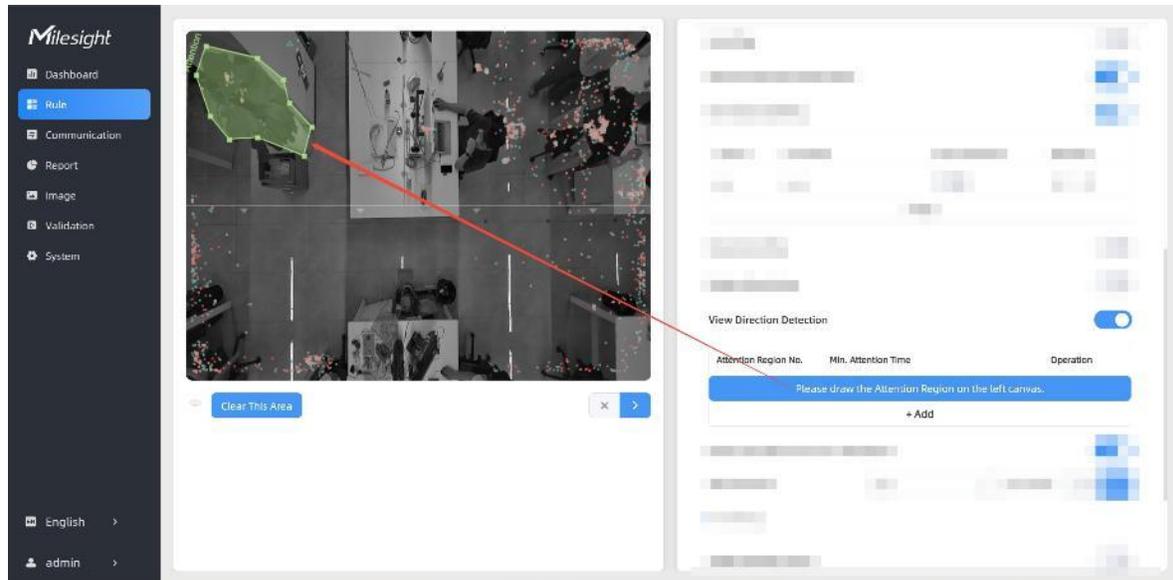
手順1： ライブビュー上で「View Direction Detection」を有効にし、「+ Add」をクリックして図面に配置してください。



ステップ2： 看板、新商品ディスプレイ、棚内など、効果を測定するために注目が必要な注目領域を描画します。

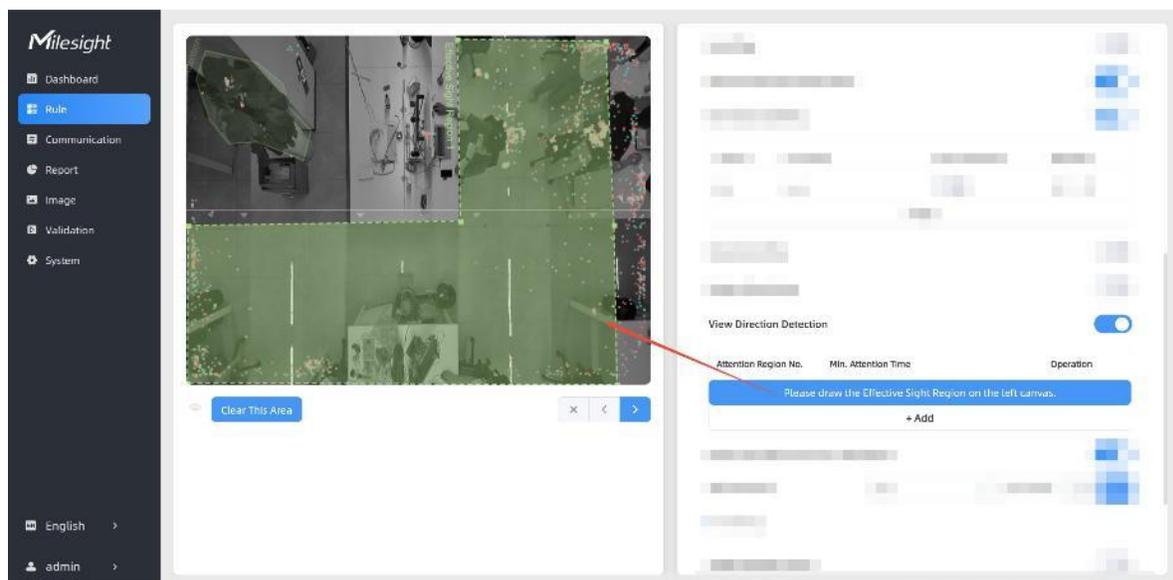
左クリックで描画を開始し、マウスをドラッグして辺を描画します。その後、再度左クリックすると別の方向の辺を描画し続けることができます。描画を終了するには、マウスの右ボタンをクリックしてください。領域はドラッグして位置や長さを調整できます。1台のデバイスで最大6つの領域に対応し、各領域は最大10セグメントまで設定可能です。

その後、[>]をクリックしてください。



ステップ3：有効視認領域の描画を行います。この領域内で、デバイスはターゲットの視線方向を分析し、注意領域と重なり、かつ1秒以上その状態が続いた場合、注視時間の蓄積を開始します。視線が注意領域から外れた場合、計測は一時停止され、再度重なった時点で蓄積が再開されます。各デバイスは最大**6**つの領域に対応し、各領域につき最大**10**セグメントまで設定可能です。

前の手順と同じ手順をお進みください。その後、[>]をクリックしてください。

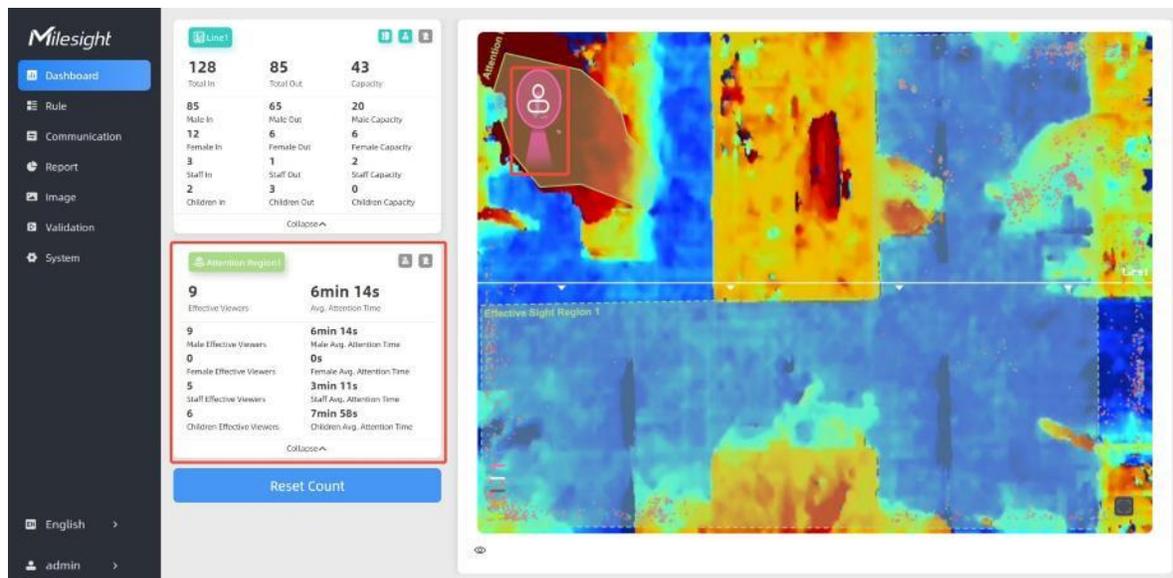


ステップ4：最小注視時間の設定対象者の視線方向と注視領域の重なり時間が設定した閾値を超えた場合、有効な視聴者とみなされます。設定を完了するには「」をクリックしてください。

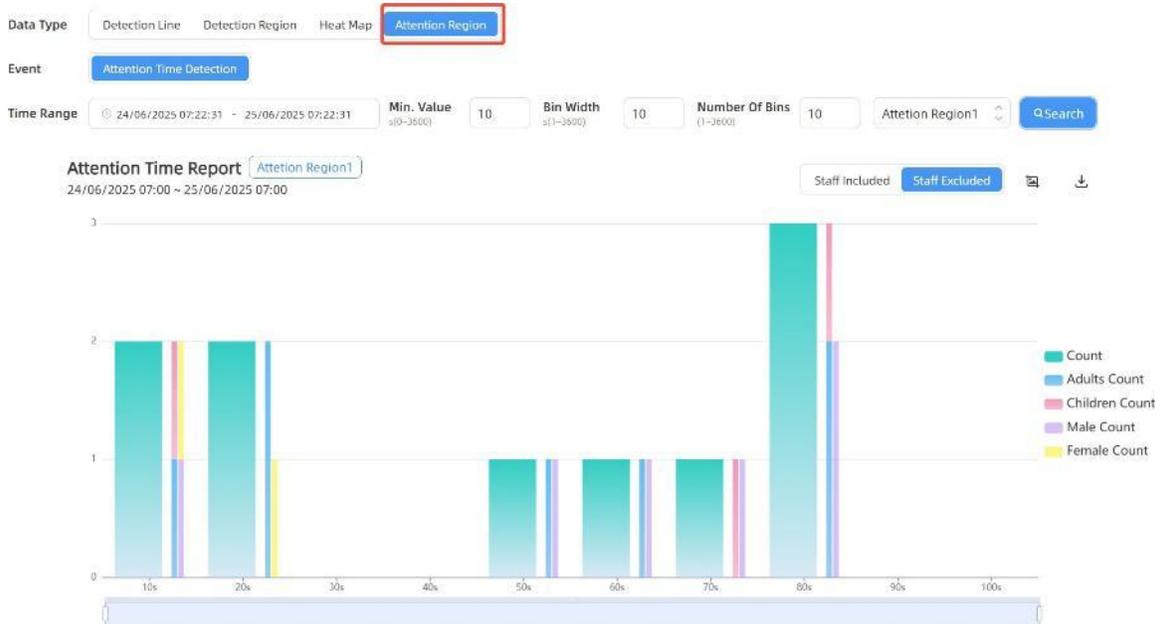
Advanced Properties

Min. Attention Time
s(1~60)

ステップ5：ユーザー様はダッシュボードで効果をご確認いただけます。



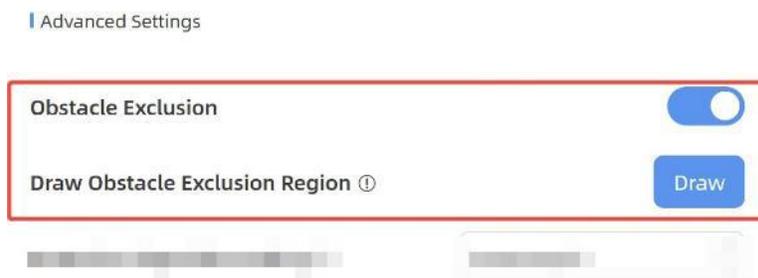
特定の期間における注目領域のデータを確認し、レポートを生成するには、[レポート](#)をご参照ください。



また、定期レポートでは「attention_region_total_data」、トリガーレポートでは「attention_region_trigger_data」を確認できます。

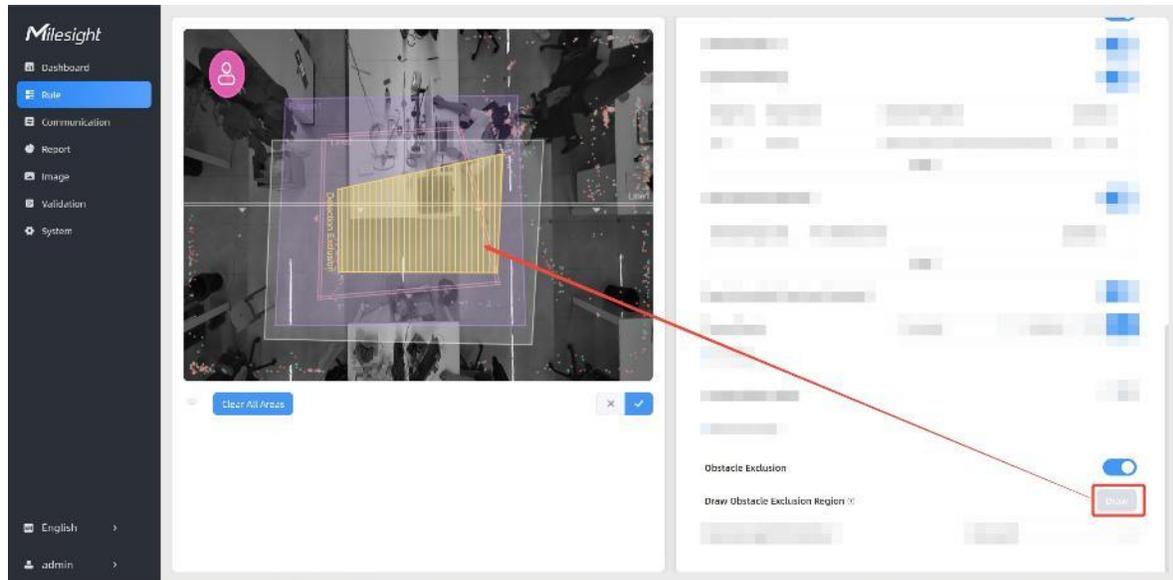
障害物除外

装置の検知範囲内に動かさない静止障害物があり、検知ラインや検知領域を調整して障害物を回避できない場合、この機能を有効にすることで、人間に似た障害物を除外することが可能です。



ステップ1：障害物除外機能**Obstacle Exclusion**を有効にし、「**Draw**」ボタンをクリックしてください。

ステップ2：ライブビューを左クリックして描画を開始し、マウスをドラッグしてエッジを描画します。再度左クリックすると、別の方向のエッジを描画し続けることができます。マウスの右クリックで描画を完了します。



領域はドラッグして位置や長さを調整できます。

1台のデバイスで最大4つの領域に対応し、各領域は最大10セグメントまで設定可能です。

ステップ3 : 除外方法を選択してください。

検出除外 Detection Exclusion : この領域で何も検出しないようにしたい場合にご選択ください。障害物の最も高い部分を描画するだけで結構です。本装置はこの最高点を基準として、自動的にこの特定の領域を除外いたします。

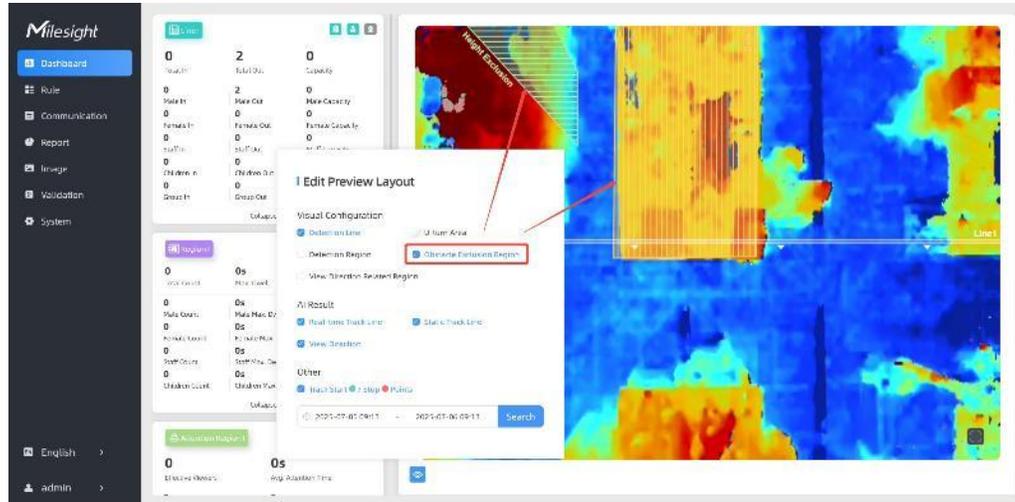
(例えば、棚のシーンでは、棚の上端だけをフレームに収めることで、棚が誤って人物として検出されることを防げます。)

高さ除外 Height Exclusion : 障害物とターゲットを混同して誤検知を生じさせたくない場合に選択してください。ターゲットと混同されやすい部分をボックスで囲み除外することが可能です。

(例えば、門の通路の場面では、お子様が門の形状に溶け込んでしまう可能性があるため、装置がお子様通過を大人と誤認しないよう、門の形状を描画することができます。)

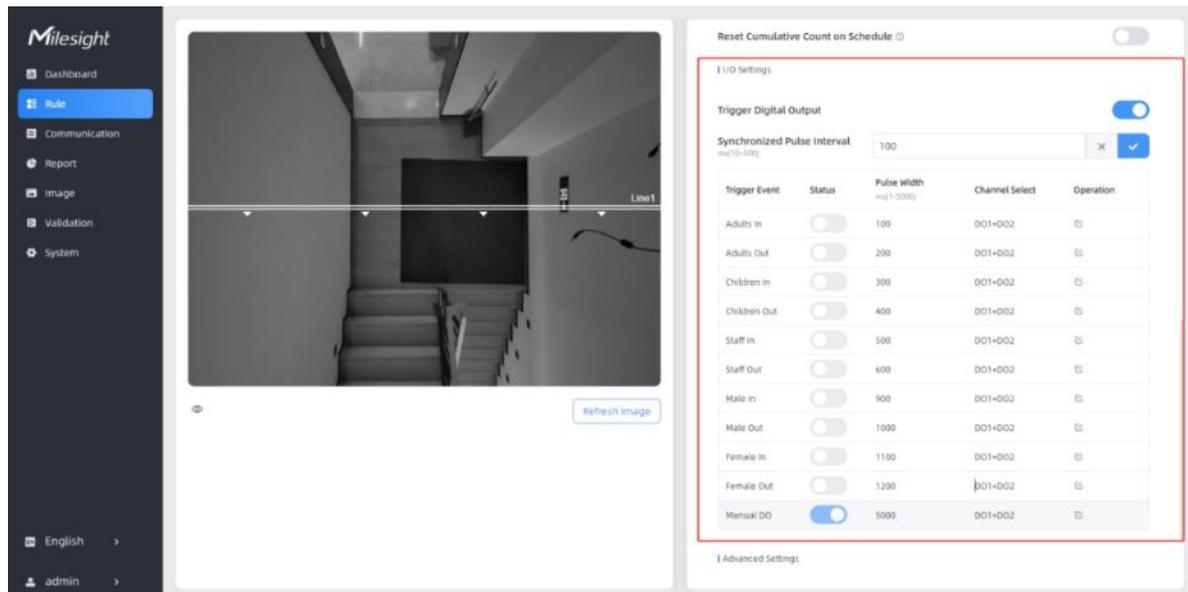
ステップ4 : をクリックして描画を完了します。

ステップ5 : [ダッシュボード](#)で効果をご確認いただけます。



I/O設定

本デバイスは、対象物が検知ラインを通過した際にパルス信号を送信する機能を対応しております。配線図をご参照の上、マルチインターフェースケーブルを用いて正しい順序でデバイスを接続してください。



ステップ 1: トリガーデジタル出力 **Trigger Digital Output** を有効にすると、デジタル出力はあらかじめ設定された幅の高レベルを送信します。

ステップ 2: 「同期パルス間隔 **Synchronized Pulse Interval**」を入力します。これは、複数の人物が通過した場合や複数のイベントが同時にトリガーされた場合の、複数のパルス間の間隔です。

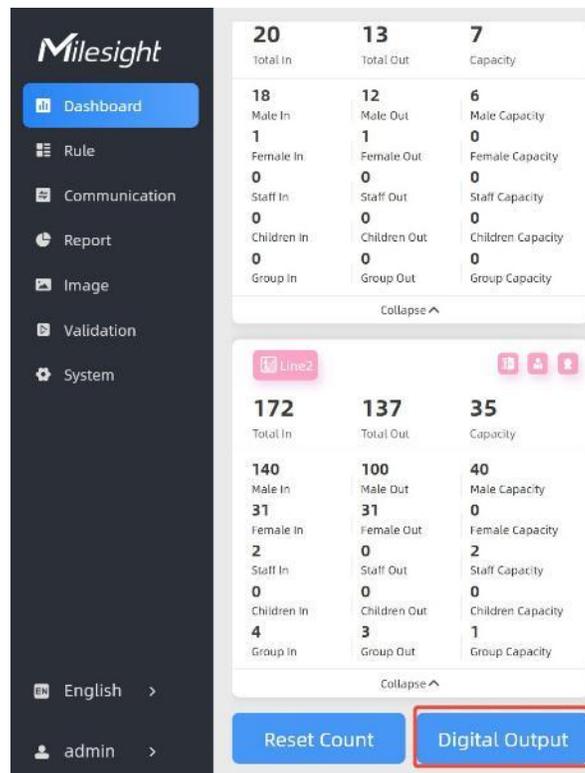
ステップ 3: トリガーイベントを有効にします。

Trigger Event	Status	Pulse Width ms(1-5000)	Channel Select	Operation
Adults In	<input type="checkbox"/>	100	D01+D02	
Adults Out	<input type="checkbox"/>	200	D01+D02	
Children In	<input type="checkbox"/>	300	D01+D02	
Children Out	<input type="checkbox"/>	400	D01+D02	
Staff In	<input type="checkbox"/>	500	D01+D02	
Staff Out	<input type="checkbox"/>	600	D01+D02	
Group In	<input type="checkbox"/>	700	D01+D02	
Group Out	<input type="checkbox"/>	800	D01+D02	
Male In	<input type="checkbox"/>	900	D01+D02	
Male Out	<input type="checkbox"/>	1000	D01+D02	
Female In	<input type="checkbox"/>	1100	D01+D02	
Female Out	<input type="checkbox"/>	1200	D01+D02	
Manual DO	<input checked="" type="checkbox"/>	5000	D01+D02	

パラメータ	説明
Trigger Event	<p>DOsがパルス信号を送信するトリガーとなるイベントです。</p> <p> 注記： スタッフイベントがトリガーされ、スタッフパルス信号が送信される場合、性別パルス信号や成人パルス信号は同期されません。</p>
Status	パルス信号の出力をトリガーするイベントを有効または無効にします。
Pulse Width	パルス信号の持続時間です。
Channel Select	パルス信号を出力するDOポートを選択します。

パラメータ	説明
Operation	クリックして情報を編集してください。

ステップ 4: ダッシュボードで効果を確認できます。



ヒートマップ

ヒートマップ機能は、人員の動きを分析し、必要に応じて時間的または空間的なパターンで、直感的で正確な統計分析結果を色分けして表示します。これにより、より良い経営管理のための洞察を提供します。



モーションヒートマップと滞留ヒートマップに対応しております。モーションヒートマップは人の流れが最も多い場所を表示し、滞留ヒートマップは人が最も長く滞在するエリアを表示します。

ステップ1 : ヒートマップ**Heat Map**機能を有効にするためクリックしてください。デバイスが記録を開始します。

ステップ2 : 特定の期間のヒートマップデータを確認しレポートを生成するには、「**レポート**」をご参照ください。

Data Type Detection Line Detection Region **Heat Map** Attention Region

Event **Motion Heatmap** Dwell Heatmap

Time Range 🕒 22/06/2025 09:00:00 - 23/06/2025 09:00:00 🔍 Search

複数デバイス結合

概要

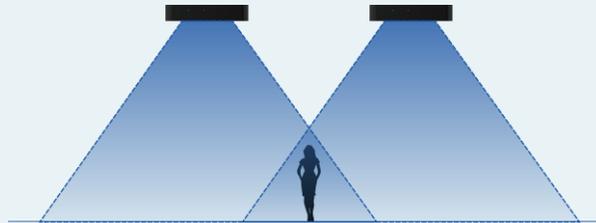
マルチデバイススティッチングは、単一デバイスでカバーできる範囲よりも広い検知エリアを監視するために主に使用されます。**VS125**シリーズは最大**16**台のデバイスをスティッチングに対応し、セルラー版と**PoE**版の両方が互換性を持ち、バージョンに関係なくシームレスな統合を実現します。

この機能をご利用の際は、デバイスを互いに隣接して設置し、**検知エリア detection areas**が接しているか重なっていることをご確認ください。

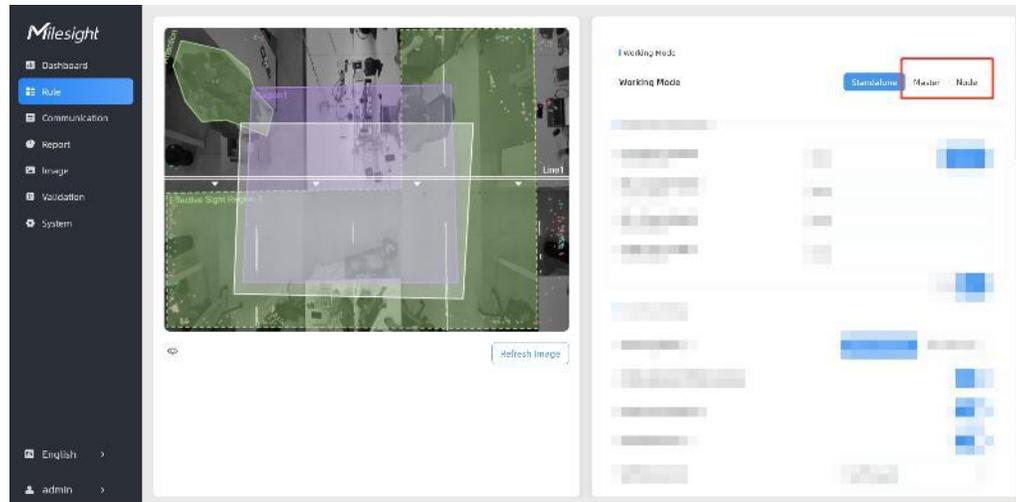
 **ご注**

- 2台のデバイス間の水平距離はx未満、垂直距離はy未満である必要があります。
xおよびyは検知範囲を示します。計算式については「検知可能範囲」をご参照ください。

- 両デバイスの視野の端付近にあるほとんどのターゲットが、同時に完全に捕捉・検出されることをご確認ください。



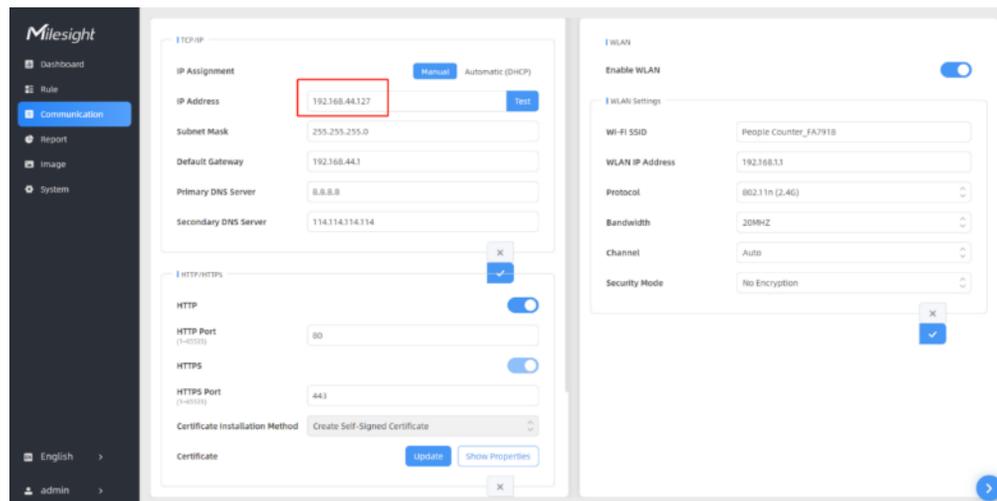
本機能をご利用になる前に、1台のデバイスを**マスターモードMaster Mode**に設定し、その他のデバイスを**ノードモードNode Mode**に設定してください。



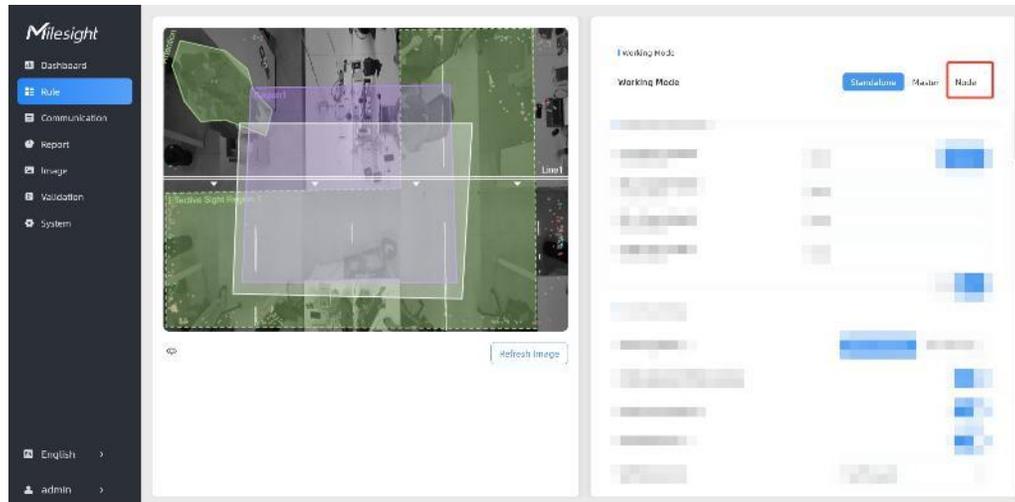
- **マスターモード Master Mode** : 対象トラックの受信とデバイスからの表示を担当し、全カウント、ルール設定、データプッシュその他の機能を管理します。
- **ノードモード Node Mode** : マスターデバイスの表示範囲を拡張するのみとなります。

ノードデバイス設定

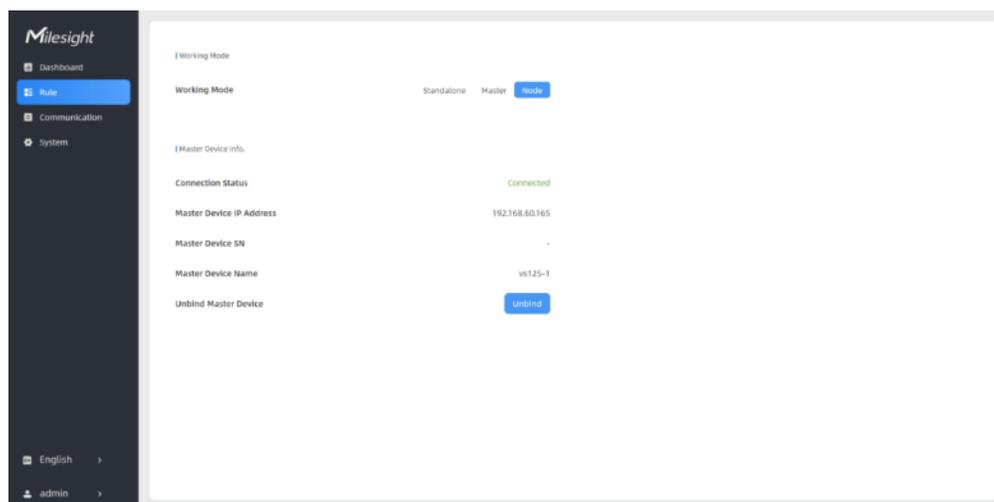
ステップ1 : ノードデバイスのWeb GUIにアクセスし、IPアドレスがマスターデバイスと同じネットワーク上にあることを確認してください。これにより、マスターデバイスがノードデバイスを検出できるようになります。



ステップ2 : 動作モードを「ノード」に選択し、デバイスの再起動をお待ちください。



以下は、スティッチング成功後のノードデバイスに関するページとパラメータの説明です：



パラメータ	説明
Connection Status	ノードデバイスとマスターデバイス間の接続状態を表示します。
Master Device IP Address	マスターデバイスのIPアドレスを表示します。このIPアドレスがノードデバイスと同じネットワーク内にある場合、ノードデバイスはマスターデバイスにバインドできます。
Master Device SN	マスターデバイスのシリアル番号を表示します。
Master Device Name	マスターデバイスの名称を表示します。
Unbind Master Device	「Unbind」をクリックすると接続状態が解除され、このデバイスはマスターデバイスのリストから削除されます。

マスターデバイス設定

ステップ1 : マスターデバイスのWeb GUIにアクセスし、マルチデバイス一覧内の「**Bind Node**」をクリックしてください。

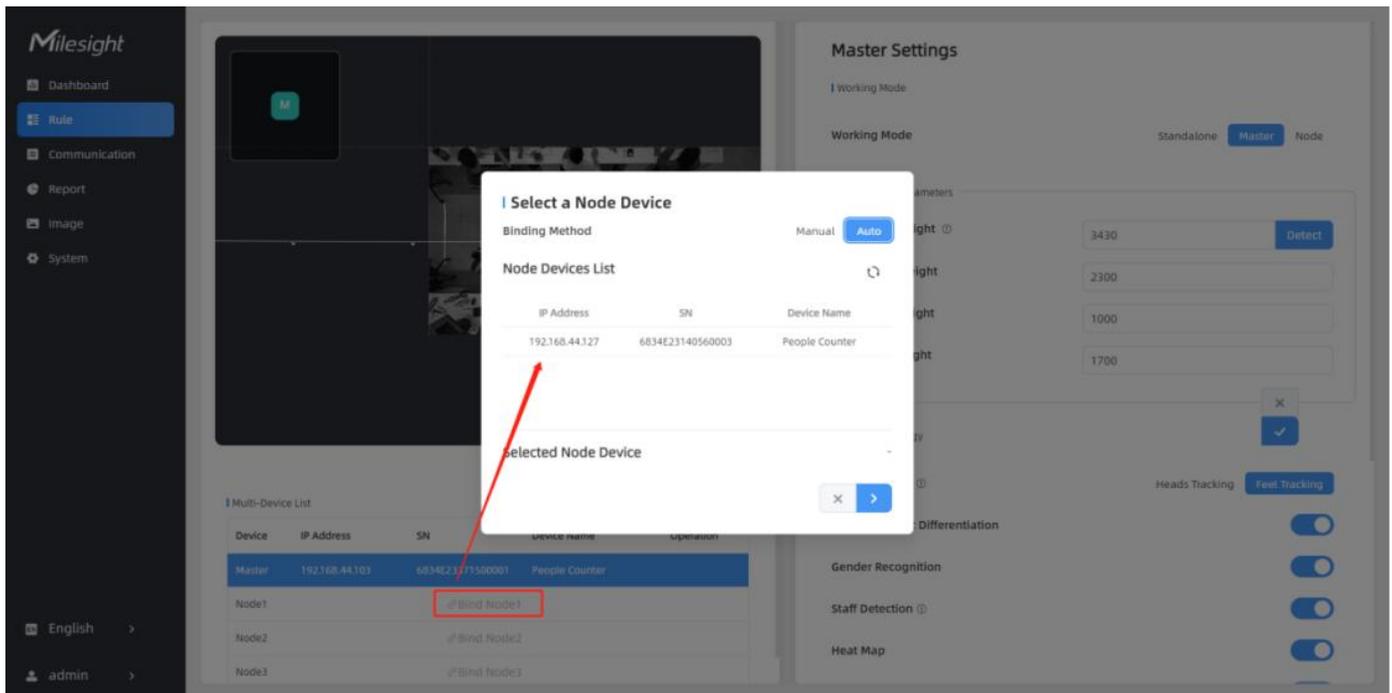
マニュアルManual : ノードデバイスは、IPアドレス、HTTPポート、ユーザー名、またはパスワードによって追加できます。



ご注意 :

追加したいデバイスがマスターデバイスと同じローカルネットワーク上にあり、低遅延であることをご確認ください。

自動 Auto : 本装置はマルチキャストプロトコルを使用し、同一ローカルネットワーク内の未接続ノードデバイスを検索いたします。



ステップ2 : ノードデバイスを選択し、ノードデバイスのログインパスワードを入力してください。

Confirm Authorization

Selected Node Device 192.168.44.127

Node Device Username admin

Node Device Password



ステップ3 : ノードデバイスの設置高さ **Installation Height** と相対位置情報が既に測定済みの場合は、それらを入力してください。測定されていない場合は、デフォルト設定を保存してください。

Node Device Deployment Parameters

Installation Height
mm(2000-6000)

3272

Detect

✕

✓

右側のIPアドレスをクリックすると、接続済みデバイスのプレビュー画面にアクセスできます。

Bind the Node Device

Node Device Deployment Parameters

Installation Height
mm(2000-6000)

3272

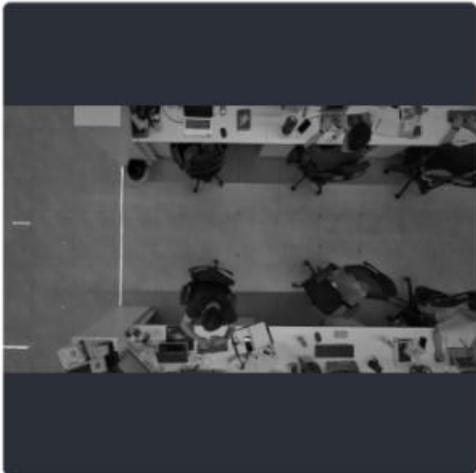
Detect

✕

✓

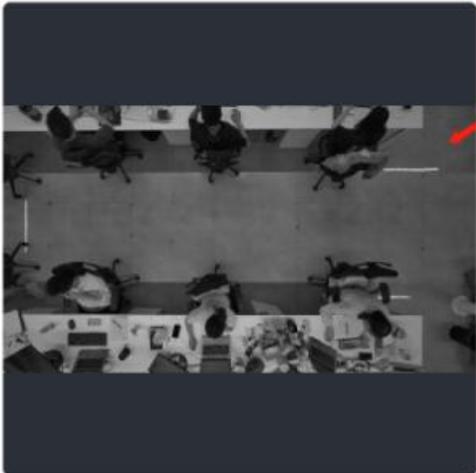
Stitch Device Frame

Selected Node Device: 192.168.44.127



Stitching Point: (0/4)

Selected Stitched Device: 192.168.44.103



Stitching Point: (0/4)

Stitched Device

192.168.44.103

Tip:

- After image stitching, the device will clear the historical heatmap data.
- Please draw four points for each device to stitch device frame.
- The points can only be drawn on the floor in the frame.
- Please arrange the stitching points in a shape of a quadrangle.
- Please place the points as far from each other as possible, without being too close to the edges of the image.

✕ < ✓



重要 :

現在、ほとんどの検知対象が両デバイス上で同時に完全に表示・検知できない場合は、両デバイスの位置を再調整してください。

両フレームで重なる必要がある部分をクリックし、四角形を形成してください。検出対象がめったにパスしない場所に重なり領域を配置することをお勧めします。修正が必要な場合は、対応するポイントを削除してください **Point 3** 。設定を完了するには、**[設定]**をクリックしてください。  をクリックして設定を完了してください。

Bind the Node Device

Node Device Deployment Parameters

Installation Height
mm(2000-6000)

3272 Detect × ✓

Stitch Device Frame

Selected Node Device: 192.168.44.127

Stitching Point: (4/4) Point 1 × Point 2 × Point 3 × Point 4 ×

Selected Stitched Device: 192.168.44.103

Stitching Point: (4/4) Point 1 × Point 2 × Point 3 × Point 4 ×

Stitched Device
192.168.44.103

Tips:

- After image stitching, the device will clear the historical heatmap data.
- Please draw four points for each device to stitch device frame.
- The points can only be drawn on the floor in the frame.
- Please arrange the stitching points in a shape of a quadrangle.
- Please place the points as far from each other as possible, without being too close to the edges of the image.

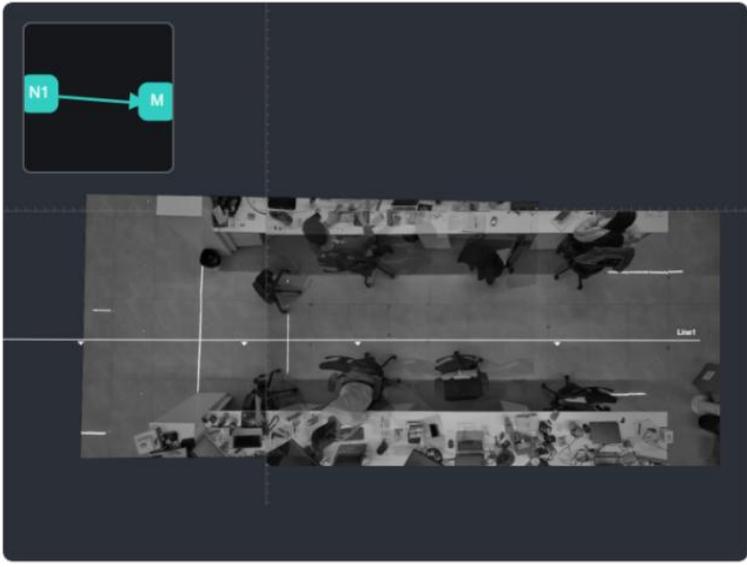
× ✓



ヒント:

タイルやテーブル、テープなどの物体を使用して、重なり合うエリアの地面にステッチポイントをマークすることができます。これにより、デバイスのステッチ作業が容易になり、見た目も美しくなります。

以下は、2つのデバイスをステッチングした後の効果です:



Device	IP Address	SN	Device Name	Operation
Master	192.168.44.103	6834E23371500001	People Counter	
Node1	192.168.44.127	6834E23140560003	People Counter	🗑️ ⚙️
Node2		🔗Bind Node2		
Node3		🔗Bind Node3		

ステップ4：複数のデバイスをご利用の場合は、ステップ3の手順に従い、順次つなぎ合わせてください。プレビュー画像の左上隅にある小さなマップには、つなぎ合わせたデバイスの位置が表示されます。

Master Settings

Working Mode: Standalone **Master** Node

Deployment Parameters:

- Installation Height: 3357 (Detect)
- Max. Target Height: 2300
- Min. Target Height: 1000
- Child Filter Height: 1200

Counting Strategy:

Tracking Mode: Heads Tracking **Feet Tracking**

Children&Adult Differentiation:

Gender Recognition:

Staff Detection:

Heat Map:

Device	IP Address	SN	Device Name	Operation
Node12	192.168.44.124	6834E23938110004	People Counter	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Node13	192.168.44.123	6834E23949360003	People Counter	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Node14	192.168.44.125	6834E23957280005	People Counter	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

ステップ5 : すべての設定が完了しましたら、ユーザー様はスタンドアロンモードのデバイスと同様に、新しいスティッチングライブビュー上で検知ラインやUターンエリアの描画が可能です。ダッシュボードには、スティッチングデバイスとマスターデバイスを同時に表示するためのフレームが自動的に2つ追加されます。

Dashboard

Total In: 193
Total Out: 287
Capacity: 0

Male In: 129
Male Out: 202
Male Capacity: 0

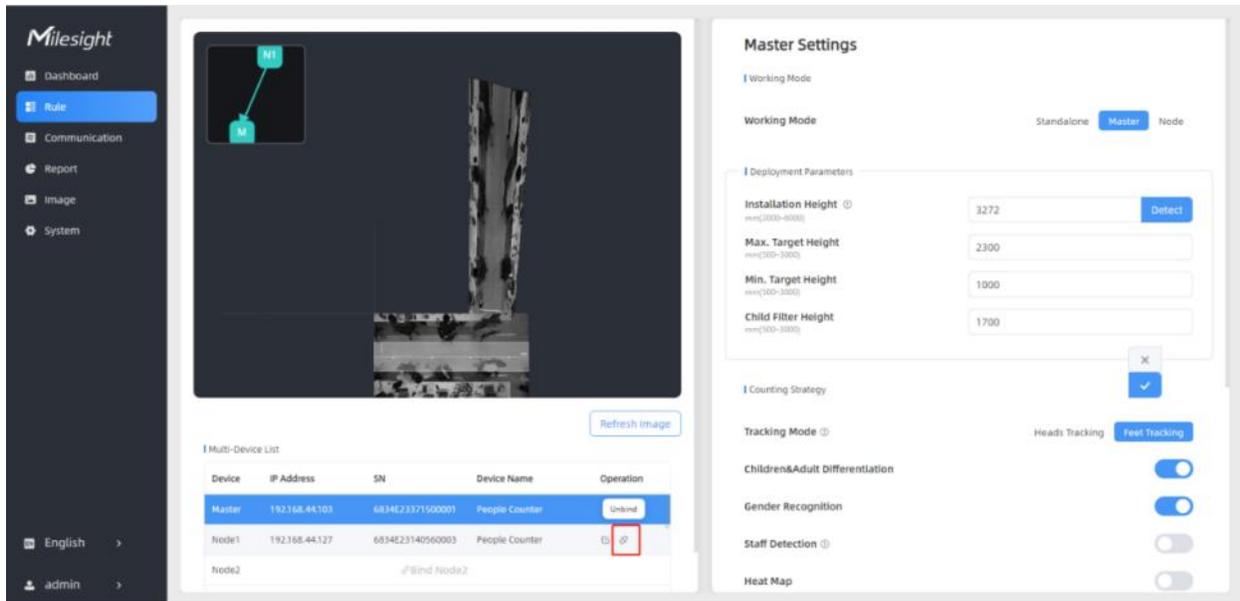
Female In: 61
Female Out: 83
Female Capacity: 0

Children In: 473
Children Out: 429
Children Capacity: 44

Reset Count

Multi-Device Frame Master Device Frame

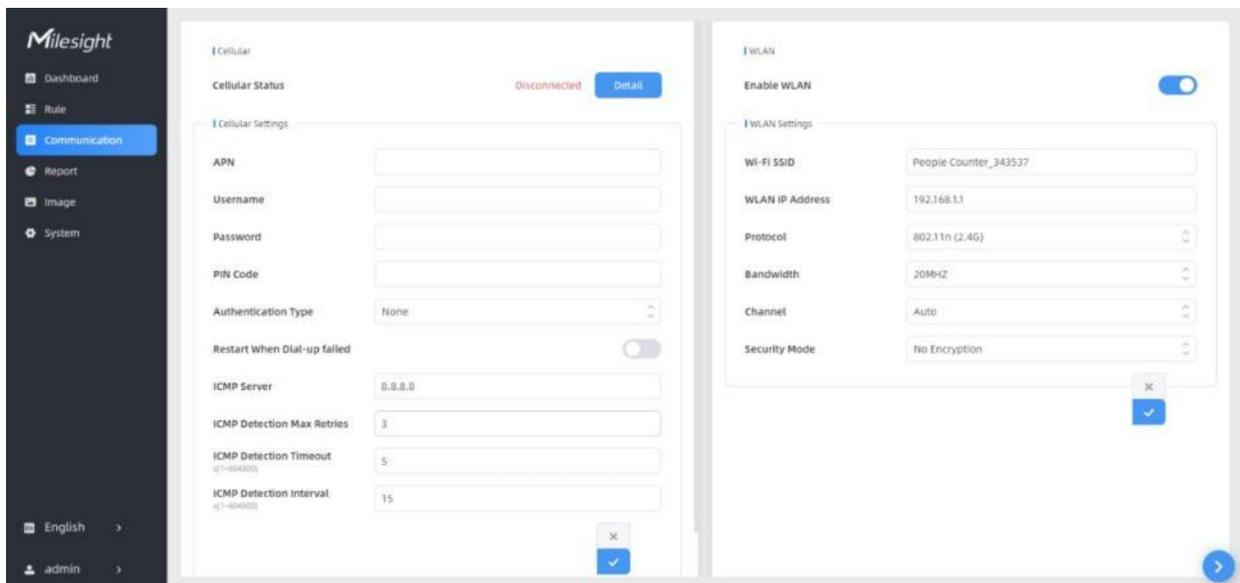
ステップ6 : 必要に応じて「Unbind」をクリックし、ノードデバイスとの接続を切断してください。



通信

ネットワーク設定

セルラー (セルラー版のみ)



パラメータ		説明
Cellular	Cellular Status	ネットワークの接続状態（「接続中」および「切断中」を含む）を表示します。

パラメータ		説明
		「詳細」 ボタンをクリックすると、携帯電話の状態を確認することもできます。
Cellular Settings	APN	ローカル ISP が提供する携帯電話ダイヤルアップ接続用のアクセスポイント名を入力してください。最大長は 31 文字です。
	Username	ローカルISP様より提供された携帯電話ダイヤルアップ接続用のユーザー名を入力してください。最大文字数は31文字です。
	Password	お使いの地域で提供されているISPの携帯電話ダイヤルアップ接続用のパスワードを入力してください。最大文字数は31文字です。
	PIN Code	SIMロックを解除するための4～8桁のPINコードを入力してください。
	Authentication Type	認証タイプを選択してください。なし、PAP、CHAP、PAPとCHAPが選択可能です。
	Roaming	ローミングを有効にするにはクリックしてください。
	Restart When Dial-up Failed	複数のダイヤルアップ接続がフェイルした場合に、デバイスの自動再起動を有効にします。
	ICMP Server	ICMP検出サーバーのIPアドレスを設定します。
	ICMP DetectionMaxRetries	ICMP検出がフェイルした場合の最大再試行回数を設定します。
	ICMP Detection Timeout	ICMP検出のタイムアウトを設定します。
ICMP Detection Interval	ICMP 検出の間隔を設定します。	

セルラーステータス

パラメータ		説明
Cellular Status	Refresh	上記の状態を手動で更新するには、こちらのボタンをクリックしてください。
	Modem Status	モジュールと SIM カードの対応する検出ステータスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SIMカードがありません • SIMカードエラー

パラメータ	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • PNエラー • PINが必要です • PUKが必要です • 信号がありません • 準備完了 • SIMカードが故障しています
Model	セルラーモジュールのモデル名を表示します
Version	セルラーモジュールのバージョンを表示します。
Signal Level	ネットワークの現在の信号強度を表示します。
Register Status	ネットワークの接続状態（「接続中」および「切断中」を含む）を表示します。
IMEI	モジュールの IMEI を表示します。
IMSI	SIMカードのIMSIを表示します。
ICCID	SIMカードのICCIDを表示します。
ISP	<p>SIMカードが登録している通信事業者を表示します。</p> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; border: 1px solid #ccc;"> <p> 注記： SIMカードが挿入されていない場合、または認識されない場合には「-」と表示されます。</p> </div>
Network Type	<p>接続されているネットワークの種類（例：LTE、3Gなど）を表示します。</p> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; border: 1px solid #ccc;"> <p> 注記： 端末がネットワークに接続されていない場合、「-」と表示されます。</p> </div>
PLMN ID	現在の PLMNID を表示します。これには MCC、MNC、LAC、およびセル ID が含まれます。
LAC	SIM カードのロケーションコードを表示します。

パラメータ		説明
		 注記： SIMカードが挿入されていない場合、または認識されない場合、「-」と表示されます。
	Cell ID	SIMカードが挿入されている場所のセルIDを表示します。  注記: SIMカードが挿入されていない場合、または認識されない場合、「-」と表示されます。
	Network Status	現在のネットワークのネットワークステータス、IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSアドレスを表示します。SIMカードが挿入されていない、または認識されない場合、 0.0.0.0 と表示されます。
	IP Address	
	Netmask	
	Gateway	
	DNS	
	Connection Duration	携帯電話のダイヤルアップ接続時間を表示します。

TCP/IP

本デバイスは、データ伝送および複数デバイスの接続にイーサネットを使用します。

セルラー版では、データ報告は現在のネットワークに依存します。セルラーネットワークとイーサネットの両方が利用可能な場合、データ報告はセルラーネットワークを優先します。

TCP/IP

IP Assignment Manual Automatic (DHCP)

IP Address Test

Subnet Mask

Default Gateway

Primary DNS Server

Secondary DNS Server

× ✓

パラメータ	説明
IP Assignment	手動または自動（DHCP）はオプションです。
IP Address	イーサネットポートのIPv4アドレスを設定してください。デフォルトのIPアドレスは 192.168.5.220 です。
Test	IPアドレスの競合を確認するには、こちらをクリックしてください。
Subnet Mask	イーサネットポートのネットマスクを設定します。
Default Gateway	イーサネットポートのIPv4アドレス用のゲートウェイを設定します。
Primary DNS Server	プライマリ IPv4 DNS サーバーを設定します。
Secondary DNS Server	セカンダリ IPv4 DNS サーバーを設定します。

HTTPS (PoE バージョンのみ)

HTTPS

HTTPS

HTTPS Port (1~65535)

Certificate Installation Method Create Self-Signed Certificate

Certificate Update Show Properties

× ✓

パラメータ	説明
HTTPS	HTTPS の使用を開始または停止します。
HTTPS Port	HTTPS 経由の Web GUI ログイン用ポートです。デフォルトは 443 です。
Certificate Installation Method	自己署名証明書の作成 Create Self-signed Certificate : 認証機関が発行した「.pem/.crt/.cer」形式の証明書をアップロードし、検証を行います。 直接インストール証明書 Direct Installation Certificate : 検証用のカスタム CA 証明書、クライアント証明書、および秘密鍵をアップロードします。
Certificate	SSL証明書を作成します。

802.1x プロトコル (PoE バージョンのみ)

IEEE 802.1x は、RADIUS サーバーを使用してネットワークへのアクセスを許可する認証プロトコルです。

パラメータ	説明
Authentication Type	MD5-Challenge に固定されています。
Enable	802.1x 認証を有効または無効にします。

パラメータ	説明
EAPOL Protocol Version	802.1x-2001 または 802.1x-2004 はオプションです。
Username	802.1x 認証用のユーザー名を設定します。
Password	802.1x 認証用のパスワードを設定してください。
Confirm Password	パスワードを再度入力してください。

WLAN

WLAN

Enable WLAN

WLAN Settings

Wi-Fi SSID: People Counter_FA7918

WLAN IP Address: 192.168.1.1

Protocol: 802.11n (2.4G)

Bandwidth: 20MHZ

Channel: Auto

Security Mode: WPA2-PSK

Cipher: AES

Wi-Fi Password: ●●●●●●●●

パラメータ	説明
Enable WLAN	Wi-Fi機能を有効または無効にします。無効の場合、ユーザーはボタンを使用して有効にすることができます。
Wi-Fi SSID	このWi-Fiアクセスポイントの固有名は「People Counter_xxxxxx」と定義されています（デバイスラベルに記載されています）。
WLAN IP Address	Webアクセス用のWLAN IPアドレスを設定してください。デフォルトのIPアドレスは192.168.1.1です。

パラメータ	説明
Protocol	802.11g (2.4 GHz) および 802.11n (2.4 GHz) はオプションです。
Bandwidth	20 MHz または 40 MHz がオプションとなります。
Channel	無線チャンネルをお選びください。自動、1、...11が選択可能です。
Security Mode	固定はWPA2-PSKとなります。
Cipher	固定は AES です。
Wi-Fi Password	パスワードは、数字、小文字、大文字、特殊文字を含む 8～63 文字でカスタマイズしてください。

受信者と API

受信者

本デバイスはデータ受信機の追加に対応しております (HTTP(s)/MQTT(s)に対応)。設定されたレポート方式に基づき、デバイスは受信機へデータを積極的にプッシュいたします。データプッシュ形式の詳細につきましては、[通信プロトコル](#)をご参照ください。

また、[ユーザー様はCGI](#)を介してピープルカウンティングデータを取得したり、本装置の設定を行ったりすることが可能です。



パラメータ	説明
Recipient Name	受取人名を表示します。
URL/Host	HTTP(s) サーバーまたは MQTT ブローカーの URL/ホストを表示します。
Protocol	レポートのプロトコルを表示します。
Status	デバイスからHTTP(s)サーバーまたはMQTTブローカーへの接続状態を表示します。
Operation	情報を編集または受信者を削除するにはクリックしてください。



注記：

最大8つの受信者を追加できます。

Recipient Settings

Recipient Name	<input type="text" value="Recipient"/>
Report Protocol	<input type="text" value="MQTT"/>
Host	<input type="text"/>
Port <small>(1~65535)</small>	<input type="text"/>
ClientID	<input type="text"/>
Username	<input type="text"/>
Password	<input type="text"/>
Topic ⓘ	<input type="text"/>
QoS	<input type="text" value="QoS 0"/>
TLS	<input checked="" type="checkbox"/>

パラメータ	説明
Recipient Name	受信者名をカスタマイズします。
Report Protocol	HTTP(s) または MQTT は任意です。
HTTP(s)	
URL	デバイスは、このURLにピープルカウンティングデータをjson形式で送信します。
Connection Test	接続を確認するため、テストメッセージをURLに送信するには「テスト」をクリックしてください。
Username	認証に使用するユーザー名です。
Password	認証に使用するパスワードです。
MQTT	

パラメータ	説明
Host	データを受信するためのMQTTブローカーのアドレスです。
Port	データを受信するためのMQTTブローカーのポート番号です。
Client ID	クライアントIDは、サーバーに対するクライアントの固有の識別子です。 すべてのクライアントが同一サーバーに接続されている場合、この識別子は一 意である必要があります。また、QoSレベル1および2のメッセージを処理する ための鍵となります。
Username	MQTTブローカーへの接続に使用するユーザー名です。
Password	MQTTブローカーへの接続に使用するパスワードです。
Topic	パブリッシュに使用するトピック名です。 トピックを購読する際、以下の文字列はデバイス情報に置き換えられます： \$devsn: デバイスシリアル番号 \$prdmd: 製品モデル \$devid: カスタマイズされたデバイスID \$siteid: カスタマイズされたサイトID 
QoS	QoS0、QoS1、およびQoS2はオプションです。
TLS	MQTT通信におけるTLS暗号化を有効にします。
Certificate Type	CA署名付きサーバーまたは自己署名付きは任意です。 CA 署名付きサーバー証明書CA signed server certificate : デバイスにプリロ ードされている認証機関 (CA) 発行の証明書で検証します。 自己署名証明書Self signed certificates : 検証用のカスタムCA証明書、クライ アント証明書、および秘密鍵をアップロードします。
レポート戦略	

パラメータ	説明
Trigger Report	ライン横断ピープルカウンティング人数またはエリアピープルカウンティング人数に変化があった場合に、直ちにレポートを生成します。
Periodic Report	<p>定期レポートは「定時」または「即時」からお選びいただけます。</p> <p>On the Dot : 本デバイスは毎正時に報告を行います。例えば、間隔を1時間に設定した場合、0時00分、1時00分、2時00分...と報告します。間隔を10分に設定した場合、0時10分、0時20分、0時30分...と報告します。</p> <p>From Now On : 本時点より報告を開始し、定期的な間隔サイクルに基づき定期的に報告いたします。</p>
Periodic Report Scheme	
Period	
Data Retransmission	デバイスのネットワーク接続が復旧した際、切断期間中に蓄積されたデータパケットを再送信できるようにします。各受信先は最大50,000件のデータ受信に対応しております。
Customize Report Content	<p>報告する内容をカスタマイズして選択でき、データの冗長性を回避します。</p>  <p>Customize Report Content <input checked="" type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Device Info <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Device Name <input checked="" type="checkbox"/> IP Address <input checked="" type="checkbox"/> Running Time <input type="checkbox"/> Device SN <input checked="" type="checkbox"/> Custom Device ID <input checked="" type="checkbox"/> Firmware Version <input type="checkbox"/> Device MAC <input checked="" type="checkbox"/> Custom Site ID <input checked="" type="checkbox"/> Hardware Version <input type="checkbox"/> Time Info <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Trigger Time <input checked="" type="checkbox"/> Time Zone <input checked="" type="checkbox"/> Line Trigger Data <input type="checkbox"/> Start Time <input checked="" type="checkbox"/> DST Enable <input checked="" type="checkbox"/> Region Trigger Data <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Region Count Data <input type="checkbox"/> Dwell Time Data <input checked="" type="checkbox"/> Dwell Start Time <input checked="" type="checkbox"/> Line Periodic Data <input checked="" type="checkbox"/> Line Total Data <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Line Count Data <input checked="" type="checkbox"/> Capacity Counted <input checked="" type="checkbox"/> Region Periodic Data <input checked="" type="checkbox"/> Line/Region Name <input checked="" type="checkbox"/> Line/Region/Attention Region UUID <input checked="" type="checkbox"/> Attention Region Total Data <input checked="" type="checkbox"/> Attention Region Trigger Data

MQTT API (セルラー版のみ)

本デバイスは、MQTTブローカーからの[ダウンリンクコマンド](#)に対応し、ピープルカウンティングデータ取得や設定変更を実現するためのMQTT APIを提供いたします。

MQTT API

Status Disconnected

Host

Port
(1~65535)

Topic

Client ID

Username

Password

QoS

TLS

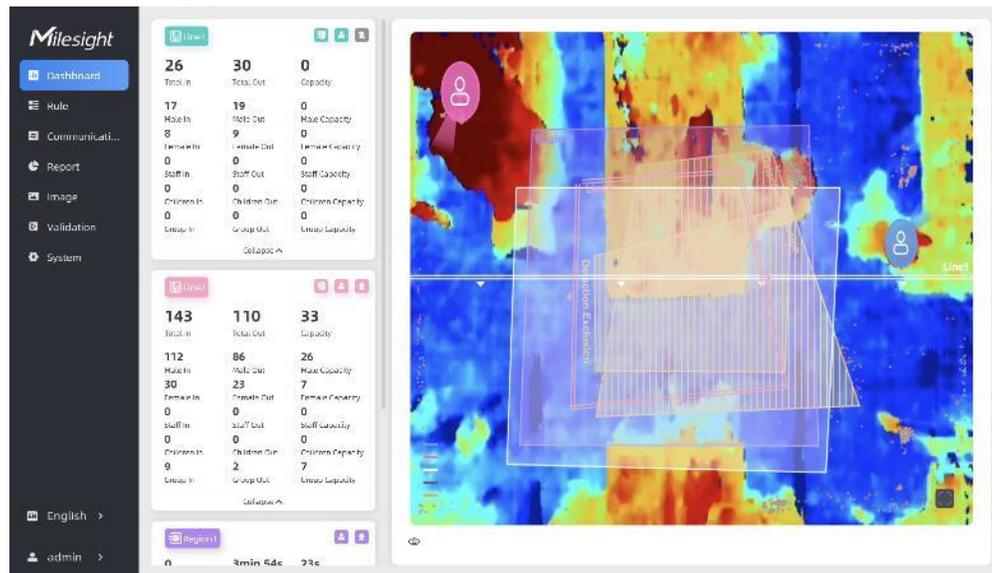
パラメータ	説明
Status	デバイスとMQTTブローカー間の接続状態を表示します。
Host	データを受信するためのMQTTアドレス。
Port	データを受信するためのMQTTポート番号です。
Topic	<p>パブリッシュに使用するトピック名。</p> <p>トピックを購読する際、以下の文字列はデバイス情報に置き換えられます：</p> <p>\$devsn: デバイスシリアル番号</p> <p>\$prdmd: 製品モデル</p> <p>\$devid: カスタマイズされたデバイスID</p> <p>\$siteid: カスタマイズされたサイトID</p>

パラメータ	説明
	
Client ID	<p>クライアント ID は、サーバーに対するクライアントの一意の識別子です。</p> <p>すべてのクライアントが同じサーバーに接続している場合、これは一意である必要があります、QoS 1 および 2 でメッセージを処理するためのキーとなります。</p>
Username	MQTT への接続に使用するユーザー名です。
Password	MQTT 接続に使用するパスワードです。
QoS	QoS0、QoS1、QoS2は任意です。
TLS	MQTT通信におけるTLS暗号化を有効にします。
Certificate Type	<p>CA署名付きサーバーまたは自己署名付きは任意です。</p> <p>CA署名付きサーバー証明書CA signed server certificate : デバイスにプリロードされている認証機関 (CA) 発行の証明書で検証します。</p> <p>自己署名証明書Self signed certificates : 検証用のカスタムCA証明書、クライアント証明書、および秘密鍵をアップロードします。</p>

データ提示

基本計測機能と高度なプロパティの設定を完了後、本デバイスではダッシュボード、レポート、コマンドライン出力など、複数のデータ表示オプションをご提供いたします。お客様のニーズに応じて、適切な方法を選択しデータをご確認いただけます。

ダッシュボード

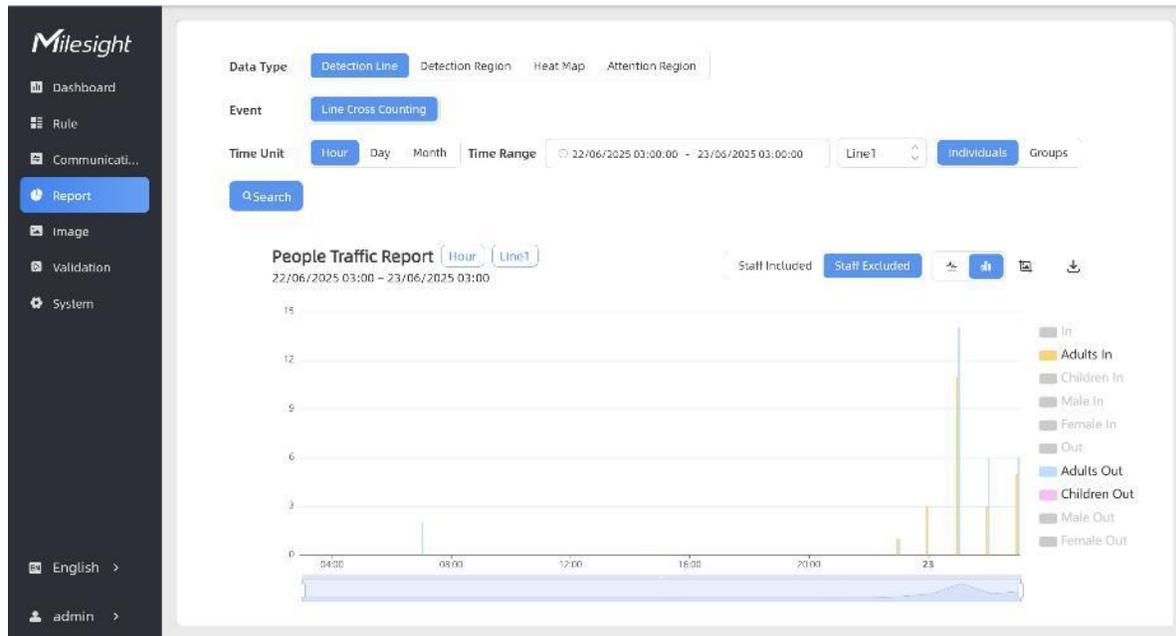


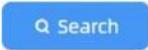
パラメータ	説明
	<p>容量を非表示にする：総カウントデータ容量を非表示にします；</p> <p>児童データ除外Children Excluded：統計データから児童データを除外します。</p> <p>スタッフ除外Staff Excluded：統計データからスタッフデータを除外します。</p>
Reset Count	累積された入退場ピープルカウンティングの値をすべてクリアします。
Digital Output	<p>手動デジタル出力イベントが有効な場合、アラーム出力インターフェースからハイレベル信号を出力します。</p> <p>アラーム出力Alarm Output：ドライ接点</p>
	<p>必要に応じて、ライン、エリア、トラックポイントの表示/非表示を切り替えるプレビューレイアウトを編集するには、こちらをクリックしてください。</p> <p>リアルタイム追跡線Real-time Track Line：ライブビュー上で対象の追跡線を表示または非表示にします。</p> <p>静的追跡ラインStatic Track Line：ライブビュー上でターゲットの追跡ラインの履歴を表示または非表示にします。履歴の対応数は最大1000件で、ページを更新すると履歴は消去されます。</p>

パラメータ	説明
	<p>Visual Configuration</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Detection Line <input checked="" type="checkbox"/> U-turn Area <input checked="" type="checkbox"/> Detection Region <input checked="" type="checkbox"/> View Direction Related Region <p>AI Result</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Real-time Track Line <input checked="" type="checkbox"/> Static Track Line <input checked="" type="checkbox"/> View Direction <p>Other</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Track Start ● / Stop ● Points <p>🕒 2025-06-24 07:45 - 2025-06-25 07:45 Search</p> <div style="background-color: #D9E1F2; padding: 10px; border-radius: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 注記： 一部のオプションが表示されない場合は、該当するルール機能が有効になっているかご確認ください。</p> </div>
	<p>対象のプロパティを表示します。</p>

レポート

本デバイスは、人の通行量を表示するための視覚的な折れ線グラフまたは棒グラフの生成に対応し、レポートのエクスポートにも対応しております。本機能をご利用になる前に、システムページでデバイスの時刻が正しいことを必ずご確認ください。

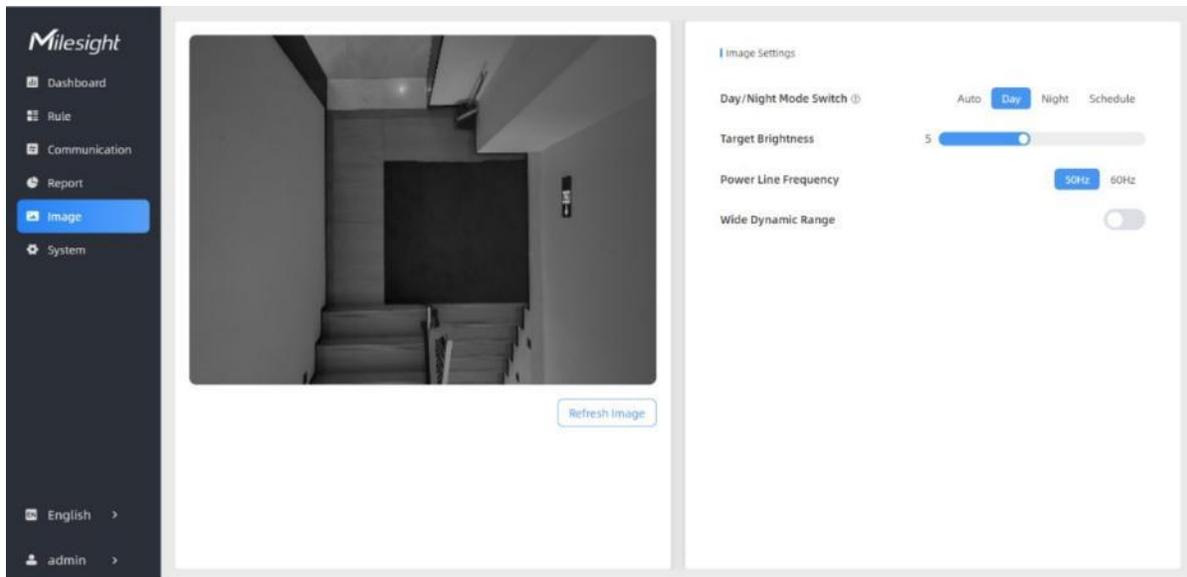


パラメータ	説明
Data Type	レポートをクエリする際に使用するデータ型を選択してください。選択したデータ型に応じて、関連するイベントが表示されます。
Event	
Time Unit	グラフの生成やデータのエクスポートに使用する単位を選択してください。
Time Range	グラフを生成する範囲を選択してください。
	クリックすると、事前に選択されたオプションに基づいてグラフを生成または更新します。
Staff Included <input checked="" type="checkbox"/> Staff Excluded <input type="checkbox"/>	グラフにスタッフカウント値を含めるかどうかを選択してください。
	表示タイプを折れ線グラフまたは棒グラフからお選びください。
	グラフのスクリーンショットをダウンロードするにはクリックしてください。
	選択されたオプションに基づき、過去のトラフィックデータをCSVファイルとしてエクスポートします。本デバイスは最大100万件のデータレコードをCSVファイルに保存可能です。

パラメータ	説明
<ul style="list-style-type: none"> ■ In ■ Adults In ■ Children In ■ Out ■ Adults Out ■ Children Out 	このグラフは複数のデータタイプを表示しております。いずれかのカテゴリをクリックすると、そのカテゴリがグラフから非表示になります。

画像

本デバイスは優れた照明適応性を備えており、低照度環境や完全な暗闇環境でも良好に動作します。非光感応方式に基づく昼夜モード切替に対応しております。

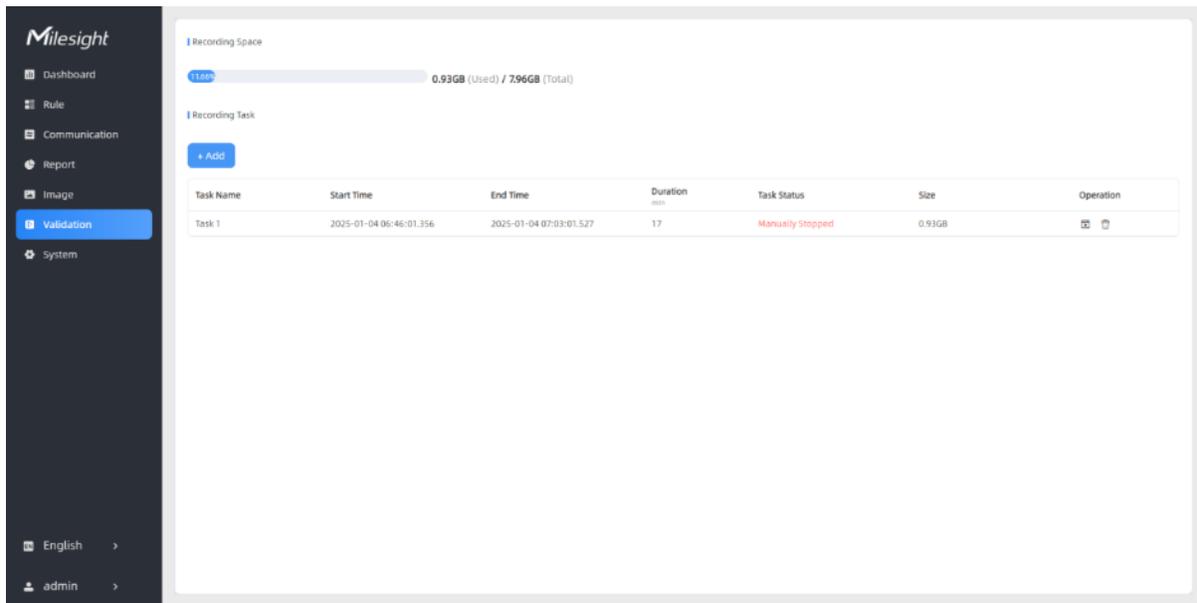


パラメータ	説明
Day/Night Mode Switch	<p>画像モードを設定します。自動、昼間、夜間、スケジュールが選択可能です。</p> <p>昼間 Day : 白黒モード ;</p> <p>夜間 Night : 赤外線ベースの白黒モード ;</p> <p>自動 Auto : 画像の明るさに応じて昼と夜を自動切替 ;</p> <p>スケジュール Schedule : 設定されたスケジュールに従って昼と夜を切り替えます。</p>
Sensitivity	自動昼夜切り替えの感度を設定します。感度が高いほど、昼と夜の切り替えが容易になります。

パラメータ	説明
Night Mode Duration	夜間モードのスケジュールを設定します。
Target Brightness	画像をより鮮明にするための目標輝度を設定します。輝度が高いほど、目標輝度は明るくなります。
Power Line Frequency	画像のちらつきを避けるために周波数をお選びください。
Wide Dynamic Range	WDRの有効化または無効化を行います。WDRを有効にすると、光量が大きく異なるシーンにおいて、より詳細な描写が可能となります。

検証

ビデオ検証機能は、録画のビデオタスクを設定することで、ピープルカウンティングの精度を確認するお手伝いをいたします。



パラメータ	説明
Task Name	タスク名を表示します。
Start/End Time	この動画の開始時刻と終了時刻を表示します。
Duration	動画の長さを表示します。
Task Status	動画タスクのステータスを表示します。
Size	動画のサイズを表示します。

パラメータ	説明
Operation	動画の詳細を確認したり、録画を停止したり、タスクを削除するにはクリックしてください。
	動画タスクを追加するにはクリックしてください。1台のデバイスで最大 50 個のタスクを追加できます。

Set a Task of Recording

Task Name

Recording Mode Record Now **Setting Time**

Start Time

Duration
min(1~60)

✕ **✓**

パラメータ	説明
Task Name	このタスクの名前をカスタマイズしてください。
Recording Mode	今すぐ録画、または録画開始時刻の設定は任意です。
Start Time	録画の開始時刻を設定してください。
Duration	録音の継続時間を設定します。すべてのタスクの継続時間は 60 分以内にしてください。


ご注

- 異なるタスクの設定範囲は重複できません。
- 録画プロセス中は検出ルールを変更できません。
- 検証用動画をローカルで再生する必要がある場合は、Milesightが提供する専用プレイヤー「[Milesight VS Player](#)」をご利用ください。



パラメータ		説明
 Edit Pre-view Layout	Visual Configuration	録画映像に関連するルールを表示/非表示にします。 <input type="checkbox"/> Detection Line <input checked="" type="checkbox"/> U-turn Area <input checked="" type="checkbox"/> Detection Region <input checked="" type="checkbox"/> Obstacle Exclusion Region
	AI Result	録画映像内の追跡線を表示/非表示にします。 リアルタイム追跡線 Real-time Track Line : 対象物のリアルタイムの軌跡線 静的追跡線 Static Track Line : ターゲットの過去の軌跡線
	Other	録画映像における追跡ポイントの表示/非表示

パラメータ		説明
Playback Button		巻き戻し/一時停止/再生/早送り（0.5倍速、1倍速、2倍速、4倍速の再生速度切り替えに対応）。
	15:20:50.035 / 15:21:04.000	録画の開始時刻と終了時刻。
		問題確認のため、動画ストリームの映像をダウンロードします。

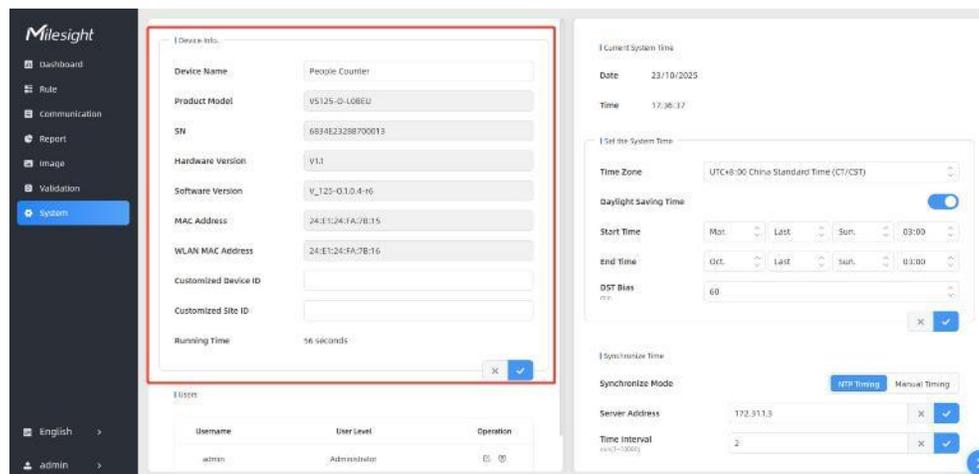
**ご注意：**

動画ストリームの再生進捗バーは、データが変化する動画フレームを強調表示します。

システム

デバイス情報

ハードウェアおよびソフトウェアに関するすべての情報は、こちらのページでご確認いただけます。また、ユーザー様はデバイス名を変更したり、大量のデバイス管理のためにデバイスIDやサイトIDをカスタマイズしたりすることが可能です。



ユーザー

Users		
Username	User Level	Operation
admin	Administrator	 
+ Add User		

パラメータ	説明
	<p>こちらのデバイスのログインパスワードを変更できます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>Users modify</p> <p>Username <input type="text" value="admin"/></p> <p>User Level <input type="text" value="Administrator"/></p> <p>Administrator Password <input type="password"/></p> <p>New Password <input type="password"/></p> <p>Confirm <input type="password"/></p> <p>At least:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 8 characters • 2 types of characters: Number, letter and symbol <p style="text-align: right;"><input type="button" value="x"/> <input type="button" value="✓"/></p> </div>
	<p>デバイスのセキュリティ質問を3つ設定するには、こちらをクリックしてください。パスワードをお忘れになった場合、ログイン画面の「パスワードを忘れた場合 Forget Password」ボタンをクリックし、3つのセキュリティ質問に正しくお答えいただくことで、パスワードをリセットできます。</p>

パラメータ	説明
	<div data-bbox="592 268 1182 850"> <p>Secure Question Settings Already Set</p> <p> Password <input type="text"/></p> <p> Security Question1 <input type="text" value="What is your lucky number?"/></p> <p> Answer1 <input type="text"/></p> <p> Security Question2 <input type="text" value="What is your favorite sport?"/></p> <p> Answer2 <input type="text"/></p> <p> Security Question3 <input type="text" value="What is your favorite game?"/></p> <p> Answer3 <input type="text"/></p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="×"/> <input type="button" value="✓"/> </p> </div>
<p style="text-align: center;">+ Add User</p>	<p>クリックすると、ビューアーを追加できます。ビューアーは「ダッシュボード」と「レポート」インターフェースのみにアクセスできます。</p> <div data-bbox="592 1066 1182 1575"> <p>Add User</p> <p> Username <input type="text" value="viewer"/></p> <p> User Level <input type="text" value="Viewer"/></p> <p> Password <input type="text"/></p> <p> Confirm <input type="text"/></p> <p> At least: <ul style="list-style-type: none"> • 8 characters • 2 types of characters: Number, letter and symbol </p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="×"/> <input type="button" value="✓"/> </p> </div>

時間設定

Current System Time

Date 25/06/2025

Time 03:04:51

Set the System Time

Time Zone UTC-0:00 Western European Time (WET), Greenwich M...

Daylight Saving Time

Start Time Mar. Last Sun. 02:00

End Time Oct. Last Sun. 03:00

DST Bias 60 min

Synchronize Time

Synchronize Mode NTP Timing Manual Timing

Server Address pool.ntp.org

Time Interval 1440 min (1-10080)

パラメータ	説明
Time Zone	お住まいの地域のタイムゾーンをお選びください。
Daylight Saving Time	夏時間（DST）を有効または無効に設定します。 開始時刻 Start Time : 夏時間適用範囲の開始時刻。 終了時刻 End Time : 夏時間適用範囲の終了時刻。 DST Bias : このバイアス設定により、夏時間（DST）の時刻が早くなります。
Synchronize Mode	NTPタイミングまたは手動タイミングはオプションです。
Server Address	時刻を同期するNTPサーバーのアドレスです。
Time Interval	NTPサーバーとの時刻同期の間隔を設定します。
Setting Time	デバイスの時刻を手動で設定します。

パラメータ	説明
Synchronize with computer time	お使いのコンピューターと時刻を同期します。

リモート管理

Milesightは、Milesight DeviceHubプラットフォームまたはMilesight開発プラットフォームを通じて、本デバイス向けのリモート管理サービスを提供しております。接続前に、デバイスがネットワークに接続されており、インターネット接続が安定していることを必ずご確認ください。

パラメータ	説明
リモート管理	
Remote Management	Milesightプラットフォームを通じてデバイスを管理する機能を有効または無効にします。
Platform	DeviceHub または IoT Development Platform はオプションです。
Status	デバイスとデバイスハブ間の接続状態を表示します。
IoT開発プラットフォーム	

パラメータ	説明
リモート管理	
Remote Management Service	Milesight開発プラットフォームを通じてデバイス設定を変更することが可能となります。
Auto Provisioning	デバイスがインターネットに接続された後、Milesight開発プラットフォームから設定情報を受信し、展開することが可能となります。
Data Transfer Service	ピープルカウンティングデータをMilesight開発プラットフォームへ報告します。
DeviceHub 2.0 (PoE バージョンのみ)	
Server Address	DeviceHub 2.0 管理サーバーの IP アドレスまたはドメイン。
Synchronize Device Name	DeviceHub 2.0 上のデバイス名を同期するかどうかを設定します。
Synchronize Customized ID	デバイスIDおよびサイトIDをカスタマイズします。
パラメータ	
説明	
セキュリティサービス	
SSH	SSH アクセスを有効または無効にします。SSH ポートは 22 に固定されています。

システムメンテナンス

The screenshot displays the 'System Maintenance' interface. It is organized into several sections:

- Hardware Settings:** Contains the 'LED Indicator Switch' which is currently turned on.
- Reset:** Contains two buttons: 'Basic Recovery' and 'All Recovery'.
- Reboot:** Contains a 'Reboot' button.
- Upgrade:** Shows the current 'Software Version' as 'V_125-0.1.0.4-r4'. Below it is an 'Upgrade Image' field with a file selection icon and an 'Upgrade' button.

At the bottom of the page, there is an explanatory note: "Explanation: The upgrade process takes 1-10 minutes, do not turn off the power. The automatic reboot will happen once the upgrade complete."

パラメータ	説明
Hardware Settings	LED Indicator Switch : デバイスが正常に動作しているときに LED インジケータを有効または無効にします。
Reset	リカバリデバイスの基本設定 Recovery device basic configuration : リセット時にも IP 設定とユーザー情報を保持します。
	リカバリデバイスを工場出荷時設定に戻す Recovery device to factory settings : デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。この操作には管理者パスワードの確認が必要です。
Reboot	デバイスを直ちに再起動します。
Upgrade	フォルダアイコンをクリックし、アップグレードファイルを選択した後、 Upgrade ボタンをクリックしてアップグレードを行います。システムの再起動が正常に完了すると、更新が終了します。

パラメータ	説明
	<p> 注記： アップグレード処理には約1～10分ほどかかります。アップグレード後は電源を切らず、自動再起動が完了するまでお待ちください。</p>
Backup and Restore	<p>Export Config File : 設定ファイルをエクスポートします。</p> <p>Import Config File : ファイルアイコンをクリックし、設定ファイルを選択してください。</p> <p>Importボタンをクリックして設定ファイルをインポートします。</p>
Diagnostics	<p>System Log : トラブルシューティングに使用できるログファイルをダウンロードします。</p> <p>IP Ping : ネットワーク接続をテストするIPアドレスまたはURLを入力してください。</p> <div data-bbox="678 856 1279 1316" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>Ping Tool</p> <p>Host <input type="text" value="www.google.com"/> <input type="button" value="Ping"/> <input type="button" value="Stop"/></p> <pre>PING www.google.com (142.250.196.228): 56 data bytes 64 bytes from 142.250.196.228: seq=0 ttl=113 time=31.403 ms 64 bytes from 142.250.196.228: seq=1 ttl=113 time=30.818 ms 64 bytes from 142.250.196.228: seq=2 ttl=113 time=34.176 ms 64 bytes from 142.250.196.228: seq=3 ttl=113 time=30.537 ms --- www.google.com ping statistics --- 4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss round-trip min/avg/max = 30.537/31.733/34.176 ms</pre> <p style="text-align: right;"><input type="button" value="×"/></p> </div>

第7章 通信プロトコル

本デバイスは、ピープルカウンティングデータをJSON形式でHTTP URLまたはMQTTブローカーに送信します。設定方法の詳細については、「[受信先](#)」をご参照ください。

トリガーレポート

ライン越えのピープルカウンティング

```
{
  "device_info":
  {
    "cus_device_id": "123456",
    "cus_site_id": "789123",
    "device_mac": "24:E1:24:FA:0C:6C",
    "device_name": "People Counter",
    "device_sn": "6384E16179950009",
    "firmware_version": "V_125-0.1.0.4",
    "hardware_version": "V1.0",
    "ip_address": "192.168.60.183",
    "running_time": 58,
    "wlan_mac": "24:E1:24:54:23:0A"
  },
  "network_info": //Cellular version only
  {
    "network_status": "true", //True is connected, False is disconnected
    "iccid": "89860117838009934120",
    "imei": "860425047368939",
    "cell_id": "340db80",
    "lac": "5299"
  },
  "line_trigger_data":
  [
  {
    "children":
    { "female_in":
      8,
      "female_out": 2,
      8
```

```
    "male_in": 8,  
    "male_out": 2,  
    "out": 6  
  },  
  "group": {  
    "in": 0,  
    "out": 0  
  },  
  "staff": {  
    "female_in": 0,  
    "female_out": 0,  
    "in": 0,  
    "male_in": 0,  
    "male_out": 0,  
    "out": 0  
  },  
  "total": {  
    "female_in": 20,  
    "female_out": 22,  
    "in": 27,  
    "male_in": 20,  
    "male_out": 22,  
    "out": 27  
  },  
  "line": 1,  
  "line_name": "Line11111111111111111111111111111111",  
  "line_uuid": "9a0440de-3188-4f6d-b886-bb20c97bd26b"  
},  
{  
  "children": {  
    "female_in": 8,  
    "female_out": 2,  
    "in": 14,  
    "male_in": 8,  
    "male_out": 2,  
    "out": 6  
  },  
}
```



```
{
  "cus_device_id": "123456",
  "cus_site_id": "789123",
  "device_mac": "24:E1:24:FA:0C:6C",
  "device_name": "People Counter",
  "device_sn": "6384E16179950009",
  "firmware_version": "V_125-O.1.0.4",
  "hardware_version": "V1.0",
  "ip_address": "192.168.60.183",
  "running_time": 105,
  "wlan_mac": "24:E1:24:54:23:0A"
},
"network_info": //Cellular version only
{
  "network_status": "true", ///True is connected, False is disconnected
  "iccid": "89860117838009934120",
  "imei": "860425047368939",
  "cell_id": "340db80",
  "lac": "5299"
},
"region_trigger_data":
{
  "region_count_data":
[
  {
    "total": {
      "current_female": 0,
      "current_male": 1,
      "current_total": 2
    },
    "children": {
      "current_female": 0,
      "current_male": 1,
      "current_total": 2
    },
    "staff": {
```

```

    "current_female": 0,
    "current_male": 1,
    "current_total": 2
  },
  "region": 1,
  "region_name": "Region1",
  "region_uuid": "bd1e6ce2-e113-4ce4-a9b6-0633f7083cac"
}
]
},
"time_info":
{
  "dst_status": false,
  "enable_dst": true,
  "time": "2024-05-30T20:12:20+08:00",
  "time_zone": "UTC+8:00 China Standard Time (CT/CST)"
}
}

```

滞在時間検出

```

{
  "device_info":
  {
    "cus_device_id": "123456",
    "cus_site_id": "789123",
    "device_mac": "24:E1:24:FA:0C:6C",
    "device_name": "People Counter",
    "device_sn": "6384E16179950009",
    "firmware_version": "V_125-0.1.0.4",
    "hardware_version": "V1.0",
    "ip_address": "192.168.60.183",
    "running_time": 106,
    "wlan_mac": "24:E1:24:54:23:0A"
  },
  "network_info": //Cellular version only
  {
    "network_status": "true", ///True is connected, False is disconnected
  }
}

```

```

"iccid": "89860117838009934120",
"imei": "860425047368939",
"cell_id": "340db80",
"lac": "5299"
},

"region_trigger_data":
{
  "dwell_time_data":
[
{
  "children": false,
  "duration": 96799,
  "dwell_end_time": "2024-05-30T20:12:20+08:00",
  "dwell_start_time": "2024-05-30T20:10:43+08:00",
  "people_id": 5,
  "region": 1,
  "region_name": "Region1",
  "region_uuid": "bd1e6ce2-e113-4ce4-a9b6-0633f7083cac",
  "gender": "male",
  "staff": true
}
]
},

"time_info":
{
  "dst_status": false,
  "enable_dst": true,
  "time": "2024-05-30T20:12:20+08:00",
  "time_zone": "UTC+8:00 China Standard Time (CT/CST)"
}
}

```

有効な視聴者数 - 単一トラックが表示されなくなります

```

{
  "device_info":
  { "cus_device_id": "123456",

```

```
"cus_site_id": "789123",
"device_mac": "24:E1:24:FA:0C:6C",
"device_name": "People Counter11",
"device_sn": "6384E16179950009",
"firmware_version": "V_125-O.1.0.4",
"hardware_version": "V1.0",
"ip_address": "192.168.60.183",
"running_time": 58
},
"network_info": {
"network_status": "true",
"iccid": "89860117838009934120",
"imei": "860425047368939",
"cell_id": "340db80",
"lac": "5299"
},
"attention_region_trigger_data":{
"region_attention_time_data": [
{
"region": 1,
"region_uuid": "c2cff789-8311-4a73-8ff3-9348cf4fa0d9",
"children": false,
"attention_time_ms": 96799,
"people_id": 5,
"gender": "male",
"staff": true
},
{
"region": 2,
"region_uuid": "c2cff789-8311-4a73-8ff3-9348cf4fa0d9",
"children": false,
"attention_time_ms": 96799,
"people_id": 5,
"gender": "male",
"staff": true
}
]
}
```

```

},
"time_info":
{ "dst_status": false,
"enable_dst": true,
"time": "2024-05-30T20:11:32+08:00",
"time_zone": "UTC+8:00 China Standard Time (CT/CST)"
}
}

```

定期報告書

```

{
"device_info":
{ "cus_device_id": "123456",
"cus_site_id": "789123", //PoE version only
"device_mac": "24:E1:24:FA:0C:6C", //PoE version only
"device_name": "People Counter11",
"device_sn": "6384E16179950009",
"firmware_version": "V_125-0.1.0.4",
"hardware_version": "V1.0",
"ip_address": "192.168.60.183",
"running_time": 141,
"wlan_mac": "24:E1:24:54:23:0A"
},
"network_info": { //Cellular version only
"network_status": "true", //True is connected, False is disconnected.
"iccid": "89860117838009934120",
"imei": "860425047368939",
"cell_id": "340db80",
"lac": "5299"
},
"line_periodic_data":
[{"line": 1,
"line_name": "Line11111111111111111111111111111111",
"line_uuid": "9a0440de-3188-4f6d-b886-bb20c97bd26b",
"total": {
"female_in": 0,
"female_out": 0,

```



```
},
"children": {
  "female_in": 0,
  "female_out": 0,
  "in": 0,
  "male_in": 0,
  "male_out": 0,
  "out": 0
},
"staff": {
  "female_in": 0,
  "female_out": 0,
  "in": 0,
  "male_in": 0,
  "male_out": 0,
  "out": 0
},
"group": {
  "in": 0,
  "out": 0
}
},
"line_total_data": [{
  "line": 1,
  "line_name": "Line11111111111111111111111111111111",
  "line_uuid": "9a0440de-3188-4f6d-b886-bb20c97bd26b",
  "children": {
    "female_in_counted": 0,
    "female_out_counted": 0,
    "in_counted": 0,
    "male_in_counted": 0,
    "male_out_counted": 0,
    "out_counted": 0
  },
  "total": {
    "female_in_counted": 0,
```

```
"female_out_counted": 0,
"in_counted": 0,
"male_in_counted": 0,
"male_out_counted": 0,
"out_counted": 0,
"capacity_counted": 0
},
"staff": {
  "female_in_counted": 0,
  "female_out_counted": 0,
  "in_counted": 0,
  "male_in_counted": 0,
  "male_out_counted": 0,
  "out_counted": 0
},
"group" {
  "in_counted": 0,
  "out_counted": 0
}
},
"region_data": {
  "dwell_time_data": [{
    "avg_dwell_time": 308367,
    "children_avg_dwell_time": 0,
    "children_max_dwell_time": 0,
    "female_avg_dwell_time": 0,
    "female_max_dwell_time": 519934,
    "male_avg_dwell_time": 0,
    "male_max_dwell_time": 96799,
    "max_dwell_time": 519934,
    "staff_max_dwell_time": 1522,
    "staff_avg_dwell_time": 1522,
    "region": 1,
    "region_name": "Region1",
    "region_uuid": "bd1e6ce2-e113-4ce4-a9b6-0633f7083cac"
  }
}
```

```
],
"region_count_data": [{
  "total": {
    "current_female": 0,
    "current_male": 1,
    "current_total": 2
  },
  "children": {
    "current_female": 0,
    "current_male": 1,
    "current_total": 2
  },
  "staff": {
    "current_female": 0,
    "current_male": 1,
    "current_total": 2
  },
  "region": 1,
  "region_name": "Region1",
  "region_uuid": "bd1e6ce2-e113-4ce4-a9b6-0633f7083cac"
}]
},
"attention_region_total_data": {
  "region_effective_audience_data": [
    {
      "region": 1,
      "region_uuid": "c2cff789-8311-4a73-8ff3-9348cf4fa0d9",
      "total": {
        "effective_audience": 1, //Including staffs and children
        "male_effective_audience": 1, //Including male staffs and boys
        "female_effective_audience": 1, //Including female staffs and girls
      },
      "children": {
        "effective_audience": 1,
        "male_effective_audience": 1,
        "female_effective_audience": 1
      },
    }
  ],
}
```

```
"staff": {
  "effective_audience": 1,
  "male_effective_audience": 1,
  "female_effective_audience": 1
}
},
"region_avg_attention_time_data": [//Excluding staffs and children
{
  "region": 1,
  "region_uuid": "c2cff789-8311-4a73-8ff3-9348cf4fa0d9",
  "avg_time_s": 10,
  "children_avg_time_s": 10,
  "staff_avg_time_s": 10,
  "male_avg_time_s": 10,
  "female_avg_time_s": 10
},
{
  "region": 2,
  "region_uuid": "c2cff789-8311-4a73-8ff3-9348cf4fa0d8",
  "avg_time_s": 10,
  "children_avg_time_s": 10,
  "staff_avg_time_s": 10,
  "male_avg_time_s": 10,
  "female_avg_time_s": 10
}
],
"time_info": {
  "dst_status": false,
  "enable_dst": true,
  "end_time": "2024-05-30T20:21:49+08:00",
  "start_time": "2024-05-30T20:20:49+08:00",
  "time_zone": "UTC+8:00 China Standard Time (CT/CST)"
}
}
```

第8章 MQTT API コマンド

検索レポート

リクエスト例：

```
{
  "dst": "all",
  "type": 0,
  "command": "/api/v1/system/searchReport",
  "msgId": "1",
  "requestData": {
    "event": 0,
    "startTime": "2025-01-22T08:00:00.000",
    "endTime": "2025-01-23T08:00:00.000",
    "lineParam": {
      "lineId": 0,
      "timeUnit": 0,
      "mode": 0
    },
    "regionCount": {
      "regionId": 0
    },
    "dwellDetect": { "regionId": 0,
      "timeMin": 10,
      "timeBinWidth": 10,
      "numOfBins": 10
    },
    "heatMap": {
      "type": 0
    }
  },
  "uuid": "1d4f62b5-37f0-4bda-80f8-a5625613fc6e"
}
```

パラメータ	タイプ	説明
dst	string	all: MQTT APIトピックを購読しているすべての受信者へ送信します SN: 特定の受信者へ送信します
type	number	0: リクエスト、1: レスポンス
msgId	number	このリクエストの識別子
requestData	object	
event	number	0: ライン横断カウント 1: エリア内でのピープル カウンティング 2: 滞留時間検出 3: ヒートマップ 4: 履歴ポイント
startTime		
endTime		
lineParam		
regionCount		
dwelldetct		
heatMap		
uuid	string	ユーザーによって定義されたランダムな一意のID

応答例：成功

```
{
  "code":0,
  "message":"ok",
  "msgId":"1",
  "src":"6834E16184430017",
  "transmitTime":2,
```

```
"type":1
}
```

パラメータ	タイプ	説明
code	integer	
message	string	
msgId	number	このリクエストの識別子
src	string	応答用SN
type	number	0: リクエスト、1: レスポンス

レポート結果を取得する

リクエスト例：

```
{
  "dst": "all",
  "type": 0,
  "command": "/api/v1/system/getReportResult",
  "msgId": "1",
  "requestData": {
    "uuid": "1d4f62b5-37f0-4bda-80f8-a5625613fc6e",
    "event": 0
  }
}
```

パラメータ	タイプ	説明
dst	string	all: MQTT API トピックを購読しているすべての受信者へ送信します SN : 特定の受信者へ送信
type	number	0: リクエスト、1: レスポンス
msgId	number	このリクエストの識別子
requestData	object	
uuid	string	ユーザーによって定義されたランダムな一意のID

パラメータ	タイプ	説明
event	number	<p>0: ライン横断カウント</p> <p>1: 区域内の人口ピープル カウンティング</p> <p>2: 滞留時間の検出</p> <p>3: ヒートマップ</p>

応答例

```
{
  "code": 0,
  "data": {
    "event": 0,
    "isReady": true,
    "line": [
      {
        "children": {
          "femaleIn": 0,
          "femaleOut": 1,
          "in": 6,
          "maleIn": 6,
          "maleOut": 0,
          "out": 1
        },
        "group": {
          "in": 9,
          "out": 3
        },
        "staff": {
          "femaleIn": 0,
          "femaleOut": 0,
          "in": 0,
          "maleIn": 0,
          "maleOut": 0,
          "out": 0
        }
      }
    ]
  }
}
```

```

"time": "2024-08-15T09:00:00.000",
"total": {
  "femaleIn": 0,
  "femaleOut": 1,
  "in": 9,
  "maleIn": 9,
  "maleOut": 2,
  "out": 3
}
}
]
},
"message": "ok",
"transmitTime": 1
}

```

パラメータ	タイプ	説明
code	integer	
data	object []	返されるデータ
event	number	0: ライン横断カウント 1: 領域内でのピープルカウンティング 2: 滞留時間検出 3: ヒートマップ
isReady	boolean	
line	object	
Children	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	

パラメータ	型	説明
maleIn	integer	
Out	integer	
staff	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
total	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
time	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
group	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	

パラメータ	型	説明
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
region	object	
Children	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
staff	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
total	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	

パラメータ	型	説明
time	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
dwel	object	
Children	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
staff	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
total	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	

パラメータ	型	説明
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
time	object	
femaleIn	integer	
femaleOut	integer	
In	integer	
maleIn	integer	
maleIn	integer	
Out	integer	
heatmap	object	
height	number	ヒートマップデータグリッドの高さ
width	number	ヒートマップデータグリッドの幅
max	number	ヒートマップの最大値
min	number	ヒートマップの最小値
values	object[]	
X	number	
Y	number	
value	number	
historyPoints		
values	object[]	軌道点の種類： 0: 軌道開始点 1: 軌道終了点
X	number	
Y	number	

パラメータ	タイプ	説明
message	string	返却情報
transmitTime	number	処理時間

検索ログ

リクエスト例：

```
{
  "dst": "all",
  "type": 0,
  "command": "/api/v1/system/searchLog",
  "msgId": 12345678,
  "requestData": {
    "startTime": "0",
    "endTime": "1800211081920",
    "logType": 0,
    "admin": true
  }
}
```

パラメータ	タイプ	説明
dst	string	all: MQTT API トピックを購読しているすべての受信者へ送信します SN: 特定の受信者へ送信します
type	number	0: リクエスト、1: レスポンス
msgId	number	このリクエストの識別子
requestData	object	
startTime	string	開始時刻、単位: ミリ秒
endTime	string	以上、終了時刻、単位: ミリ秒
logType	number	0: ログを開始します
admin	boolean	true: 応答パラメータ「rebootCode」を表示します。

パラメータ	タイプ	説明
		false: レスポンスパラメータ「rebootCode」を非表示にします

応答例:

```
{
  "code": 0,
  "data": {
    "log": [
      {
        "PowerOnTime": "2024-07-22T09:34:27+08:00",
        "ShutdownTime": "2024-07-22T09:41:59+08:00",
        "rebootCode": 1,
        "rebootMessage": "normal",
        "runningTime": 451
      },
      {
        "PowerOnTime": "2024-07-22T09:42:05+08:00",
        "ShutdownTime": "2024-07-22T09:54:47+08:00",
        "rebootCode": 3,
        "rebootMessage": "upgrade success",
        "runningTime": 761
      }
    ],
    "recordCount": 5
  },
  "message": "ok",
  "transmitTime": 3
}
```

パラメータ	タイプ	説明
code	integer	
data	object	
log	object[]	アイテムタイプ: オブジェクト
PowerOnTime	string	起動時間

パラメータ	タイプ	説明
ShutdownTime	string	停電時間
rebootCode	string	<p>-1: 実行中</p> <p>0: 不明な理由による再起動</p> <p>1: 手動による再起動</p> <p>2: ネットワーク変更による再起動</p> <p>3: Webアップグレード再起動</p> <p>4: ソフトウェアリセットによる再起動</p> <p>5: ハードウェアリセットによる再起動</p> <p>6: 設定インポート再起動</p> <p>7: リモート管理設定のインポート</p> <p>8: リモート管理アップグレード</p> <p>9: アップグレードフェイルによる再起動</p> <p>10: マルチキャストネットワーク設定変更再起動</p> <p>11: mssserver のクラッシュ</p> <p>12: avserver のクラッシュ</p> <p>13: lighttpd のクラッシュ</p> <p>14: 複数デバイスでのステッチングモード変更</p> <p>15: 複数回の4Gダイヤルアップフェイル</p>
runningTime	integer	
runningTime	string	
recordCount	integer	再起動回数、最大表示 1000
message	string	

パラメータ	型	説明
transmitTime	number	処理時間

第9章 サービス

Milesightはお客様にタイムリーかつ包括的な技術サポートサービスを提供しております。エンドユーザー様は、お近くの販売店様を通じて技術サポートをご利用いただけます。ディストリビューター様および再販業者様は、Milesightに直接お問い合わせください。

テクニカルサポートメールボックス : iot.support@milesight.com

オンラインサポートポータル : <https://support.milesight-iot.com>

リソースダウンロードセンター : <https://www.milesight.com/iot/resources/download-center/>

Milesight CHINA

TEL: +86-592-5085280

FAX: +86-592-5023065

住所 : Building C09, Software Park Phase III, Xiamen 361024, Fujian, China